

中部地域公設試験研究機関 活用ガイド2022

現場での小さな困りごとから、
製品開発、補助金獲得、新技術のご相談など

まずは『**公設試**』にご相談ください。

産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会

『公設試』は、地域に根差したものづくりのホームドクターです。技術で困った、知りたい、調べたいことなどありましたらお気軽にご相談ください。

解決策を考えましょう！

「公設試」ってなに？

「公設試」の正式名称は公設試験研究機関と言います。地方公共団体が設置した試験所、研究所などの機関で、地方公共団体における鉱工業や農林水産業の振興、あるいは環境保全、保健衛生の向上などといった行政目的に沿う試験・研究・高度な機器の使用・指導・相談等の業務を行うところです。この冊子では鉱工業振興を目的とした機関の紹介をさせていただきます。



Q 機密事項を扱う研究ですので、情報漏えいが心配です・・・

A 公設試では情報漏洩を防ぐためのルールを設けて、企業様の秘密を厳守します。

公務員としての守秘義務を順守するとともに、ご相談内容につきましては、関係者限りにて取り扱いいたします。文書やメールなどの情報管理、セキュリティ管理にも細心の注意を払っております。

目次

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ■ 公設試の利用方法・・・ 2
公設試等の紹介 | ■ 機器・設備の検索システム・・・ 39 |
| ■ 愛知県・・・ 5 | ■ 東海・北陸地域部会・・・ 40 |
| ■ 名古屋市・・・ 13 | ■ 中部地域公設試験研究機関リスト・・・ 42 |
| ■ 岐阜県・・・ 15 | |
| ■ 三重県・・・ 23 | |
| ■ 富山県・・・ 25 | |
| ■ 石川県・・・ 27 | |
| ■ 瑞浪市・・・ 29 | |
| ■ 多治見市・・・ 31 | |
| ■ 長野県・・・ 33 | |
| ■ 福井県・・・ 35 | |
| ■ 産総研中部センター・・・ 37 | |



公設試の利用方法

1. まずは...

初めての方は、まずは次ページ以降をご覧ください、お近くの公設試にコンタクトしてください。コンタクトの方法は電話、ウェブサイトからのフォーム入力やEメールなどがご利用いただけます。



2. 技術相談

お電話（あるいはご来場）いただきますと、窓口担当者が相談内容などを丁寧にお伺いし、それぞれの専門研究員にお繋ぎしたり、支援メニューのご紹介をさせていただきます。フォーム入力やEメールなどでも同様に対応させていただきます。このような相談は無料に対応させていただきます、秘密事項は厳守いたします。



3. 主な支援メニュー

公設試では次のような支援メニューを提供しております。
(有料です)

機器・設備利用

機器・設備の開放をしております。試作、測定、分析にお役立てください。必要であれば職員のサポートも可能です。

依頼試験・分析

依頼に基づき、分析・測定・評価・加工・鑑定等を行います。

共同・受託研究

企業の応用開発や試作・製品化の支援を行います。ご相談ください。

Q どこに相談をすれば良いかわからないのですが・・・

A お近くの公設試または産総研にご相談ください！

公設試と産総研とは「産業技術連携推進会議」という枠組みで連携をとっております。ご相談いただいた機関で解決できない場合でも、より適切な機関をご紹介します、解決に向けたお手伝いをいたします。また、公設試等では大学や各地のよろず相談窓口などの支援機関等とも連携をとっております。



4. その他の支援サービス

公設試では皆さんのお役に立てるよう、下記のような活動も実施しております。

人材育成
情報提供



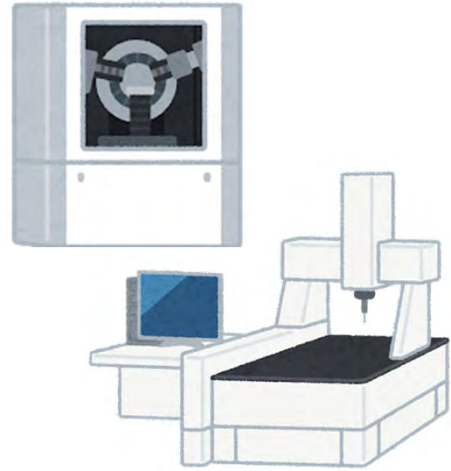
主な支援メニューの紹介は次ページにて

主な支援メニュー

機器・設備利用

公設試は分析・測定・試験・試作・加工に対応できる機器・設備を多数保有しており、企業の皆様に開放しております。ぜひご利用ください。商品クレームの原因究明で利用されていたところ、新商品の開発に発展したという企業も少なくありません。機器等の操作方法、取得したデータの解釈など、専門研究員がしっかりサポートいたしますので、初めての方でも安心してご利用いただけます。

また、データを考察し、今後の展開についてアドバイスをすることもできます。操作の難しい機器の中には事前研修（有料）を設定させていただきます。



依頼試験・分析

研究開発や品質管理、不良品の原因究明などに依頼試験・分析を御利用ください。

企業の皆様の依頼に基づいて、原材料や製品の品質確認、生産工程でのトラブル対策などに必要な分析・測定・加工等各種試験を行っています。あらかじめ決められた方法で、材料・部品の各種試験、化学分析、加工などを行いますが、ご要望に応じて測定条件等を変更することも可能ですのでご相談ください。試験結果をまとめた報告書・成績書等を発行いたします。

Q 依頼分析・試験の結果の見方を教えてほしいのですが・・・

A 職員が丁寧に説明させていただきます。

分析や試験の結果をお渡しする際には、結果の見方について丁寧に説明させていただきます。疑問点などがありましたら、質問していただくことも可能です。

共同研究・受託研究

企業の応用開発や試作・製品化を支援するため、公設試の研究成果を積極的に公表し、企業への普及や技術移転に努めています。

【共同研究】

ものづくりに直結する応用開発や試作・製品化のための研究を企業の皆様と共同で行います。

【受託研究】

新製品開発や製品の性能向上に向けた技術課題を、研究員が専門知識やノウハウ及び機器・設備を活かして解決します。

Q 研究開発を行いたいのですが、相談に乗っていただけますか？

A 協力できる内容なら喜んで！まずはご相談ください。

研究開発を始める前に、面談させていただき、課題の整理、開発の方向性などを共有させていただきます。連携可能なテーマであると双方が合意できましたら、各種の支援メニューを活用して支援させていただきます。また、補助金等の活用についてもご相談ください。

公設試では様々な支援サービスを行っています。地域や機関によって特色がありますので、詳しくは公設試のホームページ等をご確認ください。

人材育成

●技術講習会・技術セミナー各種

皆様のスキルアップにつながるような講習会・セミナー等を多数開催しております。保有機器・設備の使用方法に関する技術講習会、公設試が行っている研究と関連した技術セミナー等、専門研究員が分かりやすく技術の紹介をいたします。質問がしやすい少人数制のセミナーも多くあります。

●研究会

産官学が交流する場として研究会等を組織し、人的ネットワークづくりや産官学連携を支援しています。

●研修制度

企業で研究開発に携わる技術者の養成を目的としています。公設試の設備を用いた実習が中心です。詳細は各機関のホームページにてご確認ください。



情報提供

●情報発信

公設試の研究成果を発表するシーズ（技術）発表会の開催、刊行物等発行、インターネットを活用した情報発信を行っています。最新技術の情報収集や新たな事業展開につながるヒントやアイデアのための情報収集にご活用ください。

●施設見学会

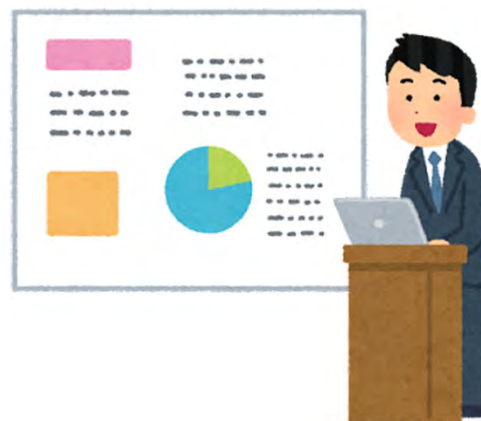
公設試の様々な機器・設備等を見学することができる施設見学会を開催しています。



Q 新しい技術・専門的な技術について知りたいのですが・・・

A 各種、研究会・セミナーを開催し技術情報の普及に努めています。

公設試では、ホームページで各種の研究会・セミナー情報を提供しています。ほとんどのセミナーが無料で受講いただけます。ぜひ、ご参加ください。また、技術の習得に向けて研究生の受入制度も用意しています。メールマガジンを発行しているところもあります。



あいち産業科学技術総合センター 本部



「知の拠点あいち」高付加価値のモノづくりを支援する研究開発の拠点 高度な研究開発環境を提供

- 産学行政の連携による共同研究開発から、企業の研究開発・計測分析支援、中小企業の技術的課題の解決までを担う総合的技術支援機関です。
 - ▶ 「知の拠点あいち」の中核施設として、産学行政の連携による共同研究プロジェクト等を実施します。
 - ▶ 高度なラボ用計測分析機器による分析・評価などにより企業の研究開発を支援します。
- 当センターに隣接して、太陽光の100万倍の明るさを持ち、ナノレベルで物質の組成等を解析できる「あいちシンクロトロン光センター」を(公財)科学技術交流財団が整備・運営しています。



高度計測分析機器/試作・評価装置の紹介

目的	主な装置名
観察する	■ 透過電子顕微鏡 ■ 集束イオンビーム加工観察装置 ■ 走査電子顕微鏡 ■ 走査プローブ顕微鏡
表面を調べる	■ X線光電子分光装置 ■ 飛行時間型2次イオン質量分析装置 ■ オージェ電子分光装置
構造を調べる	■ X線回折装置 ■ 高分解能3次元X線顕微鏡 ■ 小角X線散乱測定装置 ■ マイクロフォーカスX線CT
成分を調べる	■ 蛍光X線分析装置 ■ 誘導結合プラズマ発光分析装置 ■ 電子プローブマイクロアナライザ ■ 高感度無機ガス分析装置 ■ 2次元ガスクロマトグラフ飛行時間型質量分析計 ■ 液体クロマトグラフ質量分析計
化学構造を調べる	■ 核磁気共鳴装置 ■ マトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析装置
電磁環境による影響を調べる	■ 電波暗室 ■ EMC試験装置
試作を支援する	■ 3Dプリンター ■ フルカラー積層造形装置 ■ レーザー粉末焼結造形装置

重点研究プロジェクト

- 大学等の研究シーズを活用して県内主要産業が有する課題を解決し、新技術の開発・実用化や新産業の創出を促進する産学行政連携の研究開発プロジェクト

知の拠点あいち実証研究エリア

- 次世代成長分野等の実証研究を促進するため、研究開発拠点として愛知県が整備
- 実証研究の場を無償で提供することで、企業の取組を支援
- 対象分野：次世代自動車、航空宇宙、環境・新エネルギー、健康長寿、情報通信・DX、ロボット等の分野、当センターが支援する分野

あいちシンクロトロン光センター

- 産業界のニーズが高い硬X線領域に対応
- エネルギー領域の異なる5本のXAFS（X線吸収微細構造）ビームラインにより、ほとんどの元素に対応
- 使いやすい装置設計、材料の実使用環境を再現できる実験設備の充実
- 高性能なX線CTビームラインを整備

知の拠点あいちに関する情報は、インターネットで「知の拠点あいち」をキーワードに検索して下さい。



【公共交通機関をご利用の場合】

リニモ「陶磁資料館南駅」下車徒歩1分
(名古屋駅から約50分)

【自動車をご利用の場合】

名古屋瀬戸道路長久手ICから東へ約3km
猿投グリーンロード八草ICから西へ約800m

〒470-0356

豊田市八草町秋合1267-1

TEL 0561-76-8301 FAX 0561-76-8304

URL <http://www.aichi-inst.jp/>

産業技術センターは、製造業の盛んな本県において、機械、金属、プラスチック、木材等幅広い業界を対象として、工業技術分野の技術支援を行っています。研究開発・評価の成果普及に努めるとともに、地域企業の方々への技術相談、技術情報の提供にも取り組んでいます。

総合技術支援・人材育成室

- 地域企業の技術開発・製品開発の総合相談窓口
- 各技術センターが持つ技術シーズ等の普及、技術情報の提供
- 中小企業の人材育成支援



化学材料室

- 有機・無機材料、分析技術、水素関連技術の研究
- プラスチック、ゴム、セラミックス、電池部材等に関する技術指導
- 依頼試験（材料強度試験、耐候性試験、成分分析、電池部品の評価等）



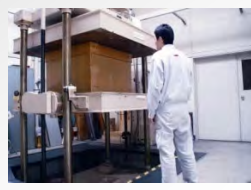
金属材料室

- 鋳造CAE、接合技術、表面改質に関する研究
- 鋳造技術、溶接技術、熱処理、めっき、腐食に関する技術指導
- 依頼試験（材料強度試験、実物強さ試験、耐食性試験、組織試験等）



環境材料室

- 環境負荷低減に配慮した技術に関する研究
- セルロースナノファイバーに関する研究
- 環境材料分野、包装技術、木材加工技術に関する技術指導
- 依頼試験（振動試験、圧縮試験、衝撃（落下）試験、製品強度試験、耐燃焼性試験、微生物試験等）



自動車・機械技術室

- 機械加工、精密測定、電気・電子技術、ロボットに関する研究・技術指導
- 3D-CAD研修、ロボットのリスクアセスメントに関する技術相談
- 依頼試験（精密測定、切削加工試験、電磁・環境試験等）



交通アクセス



名鉄「一ツ木」駅より徒歩10分
名鉄「知立」駅よりタクシー10分
JR「刈谷」駅よりタクシー12分
駐車場：約200台収容（無料）

〒448-0013
刈谷市恩田町1丁目157番地1
TEL: 0566-24-1841
FAX: 0566-22-8033
HP: <http://www.aichi-inst.jp/sangyou/>

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 常滑窯業試験場

常滑窯業試験場では、地域企業の皆様の技術開発・製品開発や製造現場における技術上の問題、不良品発生の原因究明などについて研究職員が相談、指導に応じています。また、製品の品質管理、製品開発に役立てるため、企業の方からの依頼により、各種の材料・製品の試験、分析、測定等の依頼試験や機器貸付を行っています。

材料開発室

- タイル、食器などの窯業製品の製造技術の試験研究及び技術支援
- 原材料の試験研究及び技術支援
- 産業デザイン（窯業に関するものに限る。）の試験研究及び技術支援
- 依頼試験（原材料の化学分析、陶磁器製品の品質試験、食器の有害物質溶出試験等）



交通アクセス



名鉄 常滑線・空港線「常滑」駅より
知多バス「知多半田駅」ゆき「窯業センター前」
下車徒歩7分

駐車場：約20台収容（無料）

〒479-0021
常滑市大曾町4丁目50番地

TEL: 0569-35-5151

FAX: 0569-34-8196

HP: <http://www.aichi-inst.jp/tokoname/>

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 三河窯業試験場

三河窯業試験場は、碧南・高浜地域を中心としたやきもの業界の技術支援機関です。陶器瓦、れんが、植木鉢などの製品開発や品質評価の実施、また、セラミック新素材、資源環境技術の研究開発支援等を行い、業界の技術力向上を支援しています。

- 粘土瓦、れんが、原料などに関する研究
- 粘土瓦、れんが、植木鉢などの製造技術、品質向上に関する技術指導
- 依頼試験（原料の化学分析、粘土瓦の品質試験及び施工性能試験、れんがの品質試験等）



交通アクセス



名鉄 三河線
「北新川駅」から徒歩7分

駐車場：約20台収容（無料）

〒 447-0861 碧南市六軒町2-15

TEL 0566-41-0410

FAX 0566-43-2021

HP <https://www.aichi-inst.jp/mikawa-yougyou/>

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 瀬戸窯業試験場

瀬戸窯業試験場は、「せともの」に代表される和・洋食器やノベルティ等の窯業業界の技術支援機関として、高品質で特色のある製品のデザイン・生産技術の開発を行っています。また、大きく成長しているファインセラミックスの研究開発にも取り組んでいます。

セラミックス技術室

- 原材料の開発研究・技術支援、セラミックス新素材及び新技術の研究開発・技術支援
- 依頼試験（物性試験、材料試験、成分分析等）



粒度分布測定装置



フラッシュ法熱測定装置



高温抗折試験機



伝統的加飾技法「凸盛り」



凸盛り技術講習会

製品開発室

- 窯業製品の製造技術及びデザイン・加飾技術の試験研究・技術支援、釉薬テストピース・データベース閲覧
- 依頼試験（耐火度、デザイン等）
- 機器貸付（焼成炉等）



釉薬テストピース出展



釉薬テストピース・データベース

交通アクセス



名鉄バス「本地口」下車徒歩25分
（地下鉄「藤が丘」駅より
「瀬戸駅前」ゆき、「菱野団地」ゆき、または
名鉄「尾張瀬戸」駅より「藤が丘」ゆきにて）

愛知環状鉄道
「瀬戸口」駅または「山口」駅より徒歩20分

駐車場：有（無料）

〒 489-0965
瀬戸市南山口町537
TEL: 0561-21-2116、2117
FAX: 0561-21-2128
HP: <http://www.aichi-inst.jp/seto/>

食品工業技術センターは、県内食品業界の技術支援機関として、製品の品質化・製造工程の効率化のための研究開発、新素材・新製品の開発に取り組んでいます。また、バイオテクノロジー、殺菌・保存技術等の先端・先進技術の開発・研究にも取り組んでいます。

発酵バイオ技術室

(TEL 052-325-8092)

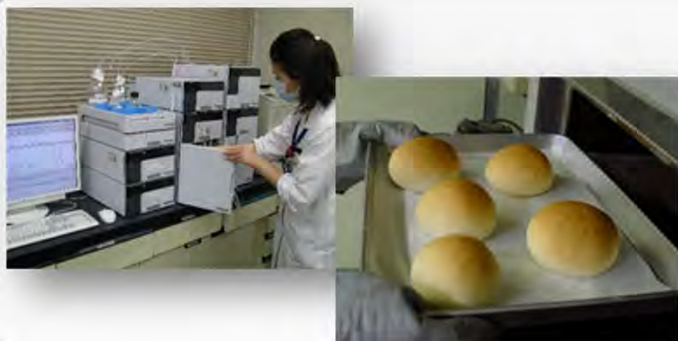
- 酒類の試験研究・技術支援
- 発酵調味食品の試験研究・技術支援
- 微生物等の高度利用の試験研究・技術支援
- バイオ技術を利用した食品の試験研究・技術支援
- 依頼試験（微生物の同定、微生物試験、食品異物、栄養成分、その他の試験）



分析加工技術室

(TEL 052-325-8093)

- 菓子及びパンの試験研究・技術支援
- 清涼飲料の試験研究・技術支援
- 機器分析並びに機器分析法の試験研究・技術支援
- 依頼試験（栄養成分、食品異物、微生物試験、官能検査、物性試験、その他の試験）



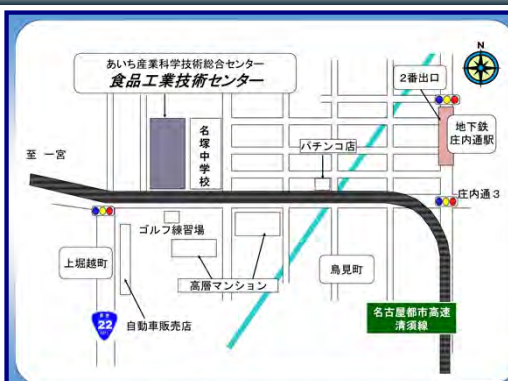
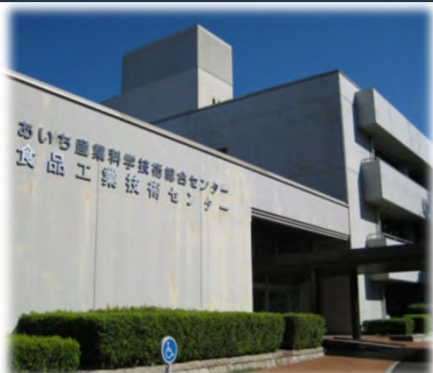
保蔵包装技術室

(TEL 052-325-8094)

- 農産加工食品の試験研究・技術支援
- 畜水産加工食品の試験研究・技術支援
- 包装食品の試験研究・技術支援
- 依頼試験（栄養成分、食品異物、微生物試験、官能検査、包装材料、物性試験、その他の試験）
- 企画業務



交通アクセス



- ・地下鉄「庄内通」駅より徒歩12分
- ・市バス「上堀越町」下車徒歩3分
- ・JR・名鉄「名古屋」駅よりタクシー約20分

駐車場：51台収容（無料）

〒451-0083

名古屋市西区新福寺町2丁目1番の1

TEL 052-325-8091（総務課）

FAX 052-532-5791

HP <http://www.aichi-inst.jp/shokuhin/>

尾張繊維技術センターは、毛織物を中心とする尾州産地の一宮市に立地し、繊維関連産業の技術支援を実施しています。最近では、スマート・テキスタイルの開発、IoT関連技術の活用に取り組むほか、産業資材・プラスチックなどの企業に対しても幅広く支援しています。

素材開発室

- 技術相談・指導 織物・ニットの製造技術、染色整理など。
- 依頼試験 織物・糸物性、染色堅ろう度、快適性、風合いなど。
- 研究・支援 織物・ニットの製造技術、染色加工、スマート・テキスタイル、福祉衣料など。



アクチュエータ繊維
(スマート・テキスタイル)



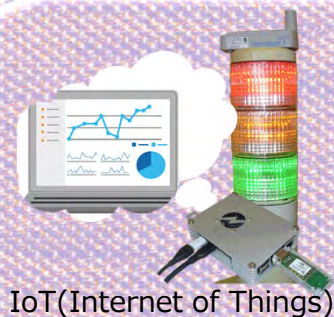
引張試験



風合い試験



芯鞘繊維ニット成形品



IoT(Internet of Things)



促進耐候性試験
(サンシャイン・キセノン等)



織物のはっ水加工等
各種機能性の付与

機能加工室

- 技術相談・指導 機能加工技術、IoT関連技術など。
- 依頼試験 繊維鑑別、化学分析、機器分析、耐候性など。
- 研究・支援 機能性加工、性能評価技術、IoT関連技術など。



製品に混入した異物分析

交通アクセス



JR尾張一宮駅、名鉄一宮駅より

名鉄バス乗車「繊維センター前」下車

徒歩1分

駐車場：約80台収容(無料)

〒491-0931一宮市大和町馬引字宮浦35

TEL 0586-45-7871

FAX 0586-45-0509

HP <http://www.aichi-inst.jp/owari>

三河繊維技術センターは、当地域の綿・スフ織物、ロープ、ネットなどの繊維業界を総合的に技術支援する機関です。また、次世代産業を担う炭素繊維強化複合材料(CFRP)やナノファイバーなどの新しい繊維関連の産業資材の研究開発により、イノベーション創出にも取り組んでいます。

製品開発室

- 綿・スフ織物、ロープ、ネットなどの研究・技術指導
- 繊維製品などの性能評価
- 繊維製品などの技術講習会・講演会・研究試作展の開催
- 依頼試験（織物・編物・不織布・ロープ・ネット引張試験、耐候性試験、熔融紡糸、繊維鑑別など）



ロープ引張試験機(10t)



熔融紡糸装置



超促進耐候試験機
(メタリングウエザーメーター)

産業資材開発室

- 炭素繊維強化複合材料(CFRP)、ナノファイバーなどの研究・技術指導
- 産業資材製品などの性能評価
- 産業資材製品などの技術講習会・講演会の開催
- 依頼試験（機器分析、燃焼性試験、複合材評価試験など）



多給糸フィラメントワインダー

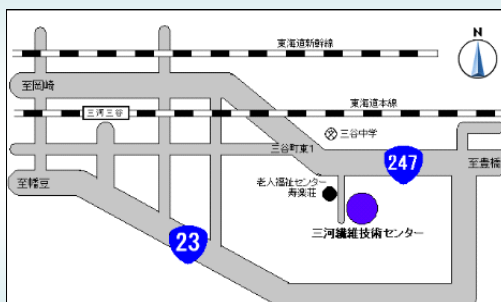


複合材界面特性評価装置



高速引張試験機

交通アクセス



JR「三河三谷駅」下車徒歩20分

JR「三河三谷駅」下車タクシー5分

駐車場：42台収容（無料）

〒443-0013
蒲郡市大塚町伊賀久保109
TEL 0533-59-7146
FAX 0533-59-7176
HP <http://www.aichi-inst.jp/mikawa/>



名古屋市工業研究所



技術に関することで困ったらまずお問合せ下さい

■ 技術相談

中小企業で発生する様々な技術的問題を解決するお手伝いをします。電話やメール、来所等で受け付けます。

■ 依頼試験

材料や製品の品質改善のための試験・分析・測定、日本産業規格に基づく各種試験を行います。

■ 受託研究・提案公募型研究

自社の設備では間に合わない、苦手な技術を必要とするなどお困りの場合、その開発研究をお引き受けします。また、国などの提案公募型研究にも取り組んでいます。

■ 人材育成

「中小企業技術者研修」「中小企業研究者育成研修」「業界対応専門研修」など研修を通じて企業の技術者の育成を支援しています。

■ 講演・講習会

中小企業の技術の高度化や新製品・新技術開発を支援するため、先進技術などを紹介・普及を図る講演・講習会を開催しています。

<主な技術相談項目および主要機器>

システム技術部

製品技術研究室

(052-654-9861)

- ・工業製品および部材の強度評価、耐摩耗性評価
- ・工業製品の振動耐久試験
- ・超促進耐候性試験

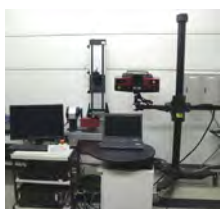


コンポジット部材振動特性評価解析装置

生産システム研究室

(052-654-9938)

- ・CAEを用いた構造設計、熱設計
- ・X線CTを用いた非破壊内部調査
- ・三次元形状測定および検査



非接触三次元デジタイザ

情報・電子技術研究室

(052-654-9926)

- ・電子素子・電子回路の評価
- ・電気・磁気・電磁波特性の評価
- ・画像を応用した計測・制御システムの開発支援



静電気試験器

計測技術研究室

(052-654-9874)

- ・吸音材・制振材および音響に関する測定
- ・熱・温度に関する材料物性の評価
- ・機能性複合材料の開発



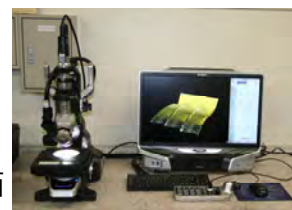
高速引張り試験機

材料技術部

金属材料研究室

(052-654-9880)

- ・金属材料および金属製品の強度特性の測定
- ・金属材料の顕微鏡観察と評価
- ・金属材料等における不良・損傷調査



デジタルマイクロスコープ

表面技術研究室

(052-654-9855)

- ・めっき等表面処理技術の開発と評価
- ・有機ナノ材料の開発と評価（撥水剤、界面化学応用技術）
- ・プラズマ技術を応用した表面処理



X線回折装置

環境・有機材料研究室

(052-654-9885)

- ・有機材料の試験・分析、評価
- ・プラスチック材料の利用技術、成形加工、複合材料開発
- ・湿式法による有価物のリサイクル技術



固体核磁気共鳴装置

信頼性評価研究室




(052-654-9913)

- ・工業製品の長期信頼性評価試験（耐食性・耐候性・耐光性等）
- ・工業製品等の動作解析
- ・各種粉末・個体の密度測定
- ・色彩・アピアランスの測定



サンシャインウェザーメータ

＜最近の導入機器＞

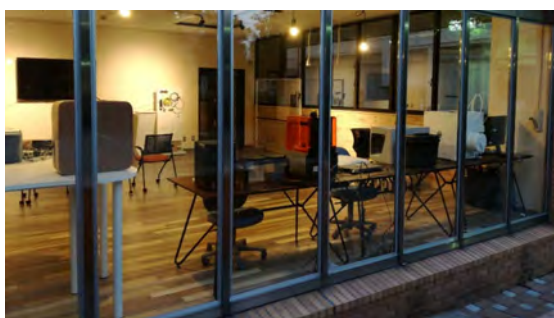
装置名	設備概要	外観	その他
高出力X線CT装置 東芝ITコントロール システム(株) TXS-33000FD	物体を透過する能力を持つX線を利用して、対象の内部構造を含めた3次元画像を取得できる非破壊検査装置です。特に本装置は、従来装置よりも高エネルギーのX線を出力できるため、比較的大きく高密度な試料に対しても詳細な撮影が可能です。		令和3年度 JKA補助金
分析機能付 超高分解能走査電子顕微鏡 日本電子(株) JSM-7900F	本装置は製品の表面形態を高分解能で観察する装置であり、2次電子像、反射電子像が撮影できます。また、微小部の元素分析並びに結晶方位解析が可能です。異物分析、不良原因調査、破損解析、多結晶材料の組織評価などに利用できます。		令和2年度 JKA補助金
環境試験室 (恒温恒湿室) 日立グローバルライフ ソリューションズ(株) ER-105HHP-R	本設備は、温度湿度の変化によって生ずる各種材料の形状変化や機械製品、電子・電気製品などの機能変化を調べるための恒温恒湿室です。大型の測定物にも対応します。 (室内寸法 : W3450×D2550×H2100mm)		

＜最近の主な事業＞

Nagoya Musubu Tech Lab

新事業展開に取り組む企業を技術面から支援する拠点です。

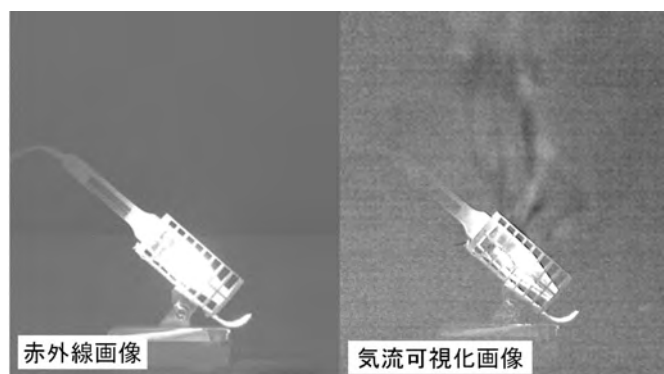
- ・新製品開発に向けた会員同士の連携を深める「Musubu会」やプロダクトデザインに関するセミナーなどのイベントを開催しています。
- ・会員企業のニーズやシーズを基にした技術のマッチングを行います。
- ・3Dプリンタ、小型加工機などの試作用装置、電子部品の信頼性評価機器などがご利用できます。



Nagoya Musubu Tech Lab 外観

デジタル化における熱設計を活用した製品開発支援事業

「熱流体解析システム」および「気流可視化装置」を導入し、熱設計ワークショップを開催することで中小企業の新製品開発の支援を行いました。



気流可視化装置



名古屋市工業研究所

〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号

電話番号：052-661-3161 (代表) ファックス：052-654-6788

ご利用時間 月曜日から金曜日 8時45分から17時30分まで
(祝日・休日・年末年始を除く)

駐車場：約100台あり

- 地下鉄 (名港線) ・市バス共に「六番町」下車
- 三重交通バス (50,63系統) 「熱田六番町」下車

岐阜県産業技術総合センター



[対応可能分野]

機械、金属、化学工業、プラスチック、石灰、繊維、紙、複合材料、電気・電子、情報処理、ソフトウェア、メカトロニクス

[支援メニュー]

技術相談、依頼試験、機器利用（開放試験）
各種研修、各種講習会、研修生受入
出前講座、共同研究、受託研究

[当センターのご利用]

電話やメールなどでご連絡ください。
相談内容によって適切な担当者におつなぎします。



住所 〒501-3265 岐阜県関市小瀬1288
電話 0575-22-0147(代表) FAX 0575-24-6976
メール info@gitec.rd.pref.gifu.jp
ホームページ https://www.gitec.rd.pref.gifu.lg.jp
アクセス 岐阜バス 赤土坂または新田下車 徒歩約10分

※名古屋から赤土坂まで高速バスがあります。

長良川鉄道 関駅 または せきてらす前駅 徒歩約40分
自動車 東海北陸自動車道 関インターより 約10分
東海北陸自動車道 美濃インターより 約15分
東海環状自動車道 関広見インターより 約10分

お問い合わせ(ワンストップ相談窓口)

TEL : 0575-29-7151

MAIL : soudan@gitec.rd.pref.gifu.jp

[各部の紹介]

技術支援部

- ワンストップ相談窓口を設置
- クレーム対応など高度な分析
- 放射エミッションなどのEMC試験



EMC試験を行う電波暗室

機械部

- 機械加工技術に関する研究開発
- 自動化・省力化技術に関する研究開発
- 機械加工、精密測定などに関する技術支援



表面粗さ測定機

金属部

- 機能付与を目的とした金属表面処理技術の開発
- 刃物製品の付加価値化及び評価技術に関する研究
- 金属材料の分析・評価に関する技術支援



残留応力測定装置（精密）

繊維・紙業部

- 繊維技術を活用した試作、新製品開発
- 繊維製品の高機能化・高品質化に関する研究
- 美濃和紙原料の栽培・管理技術に関する研究開発
- 繊維産業、紙関連産業に関する技術支援



KES風合い計測システム

化学部

- プラスチックの成形加工、リサイクル技術などの研究開発
- 素材の高機能化・高品質化に関する研究開発
- 化学関連産業に関する技術支援



二軸押出機

次世代技術部

- 複合材料の成形・加工・接合技術に関する研究
- CNFを複合した機能性材料の開発
- 航空宇宙・次世代自動車・医療福祉分野など成長産業の技術支援



豎型射出成形機

情報技術部

- 人の動作や設備の状態のセンシングに関する研究
- AI・IoTに関する研究
- 情報・メカトロ技術に関する技術支援



樹脂粉末三次元造形機

産学連携部

- 国・他県・大学などとの連携
- 工業系試験研究機関の総合窓口
- ぎふ技術革新センターと運営協議会に関する業務



角形シートマシン（吸引タンク付）

[これまでの主な研究事例]

レーザによる金属製品の発色技術開発

金属表面にレーザを照射すると酸化皮膜が生成する。酸化皮膜を有する金属表面は、酸化皮膜と金属母材の表面で反射する光の干渉により、着色したように見える。酸化皮膜の厚みを変化させることにより、カラフルな発色が可能となる。この手法を用い、金属製品の意匠等向上を可能とする技術を開発した。



レーザ加飾（多階調）



レーザ加飾（包丁）

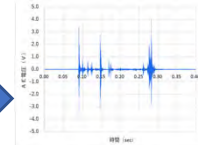
プレス金型の故障診断手法の確立

プレス機にAE（Acoustic Emission）センサを取付け、金型や工程異常を検出するための故障診断システムを試作した。本システムでは、明らかな製品異常やプレス材に塗布する潤滑油の異常を検出できることを確認した。

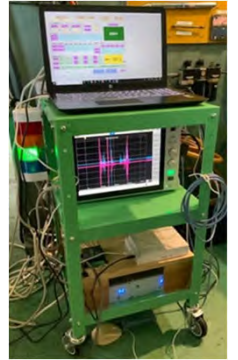


プレス加工

AEセンサ



A E 電圧波形



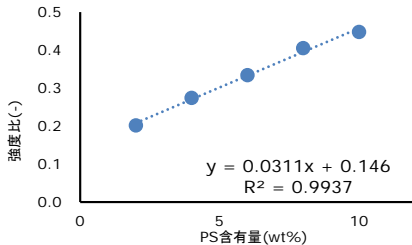
故障診断システム

プラスチック材料の品質向上技術の開発

リサイクルプラスチック中の各樹脂の含有率を推定するために、PE、PP、PSなどを含むサンプルを作成し、熱分析装置または赤外分光光度計を用いて簡易的に定量化する測定手法を開発した。



プラスチック再生工場



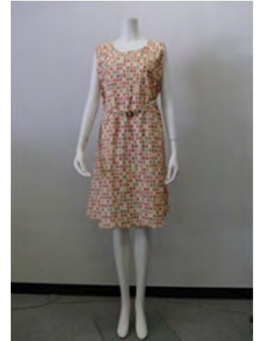
赤外吸収スペクトルにおけるPP/PS配合比との相関

昇華転写プリント綿布製品開発

環境に配慮した高品位プリント技術を開発するため、綿への昇華転写プリント（非水プリント）を可能とする綿の加工技術を開発した。



開発した薬剤



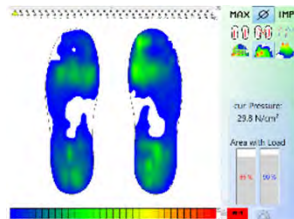
染色試作品

歩行が不自由な方を支援する「CFRTP製インソール」の開発

これまでに市販の靴を下肢装具に改造できる炭素繊維複合材料製のキットを開発した。今回、被装着者の足型に最適な中敷き（インソール）をこのキットに一体化することで、歩行性能を格段に向上することができた。



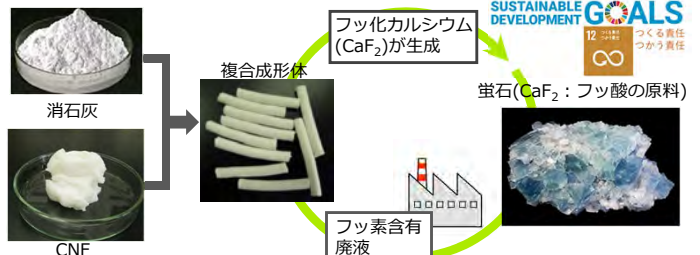
インソール付き下肢装具
（左：外観、右：装着時）



足圧分布図
（最適化したインソール）

セルロースナノファイバー(CNF)と石灰からなるフッ素吸着剤の開発

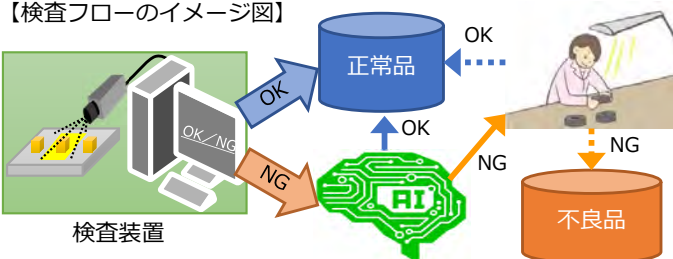
半導体やガラス製造工場からのフッ酸含有廃液について、これまでの消石灰の粉末を用いた処理と異なり、CNFを結合剤として消石灰と複合化した成形体を用いることで、フッ酸との反応によって生成されたフッ化カルシウムの回収が容易になり、フッ酸の原料へとリサイクルする仕組みを確立することができた。



AIを用いた工業部品の欠陥画像分類

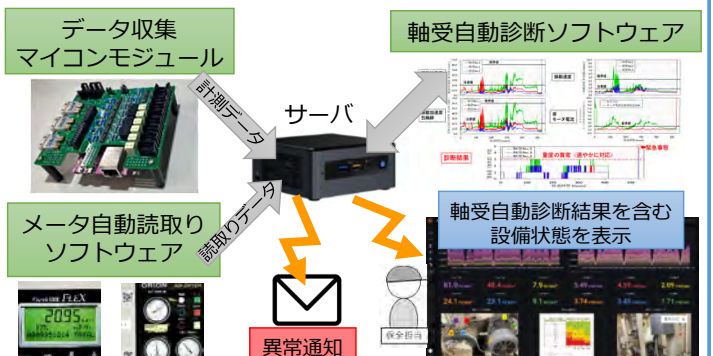
既存の検査装置では検出・分類機能に問題（正常品でも不良品として検出される等）があり、人による目視検査作業の負担が大きかった。そのため、検査装置の認識性能向上を目的に、AI技術を用いた欠陥画像分類技術を開発した。

【検査フローのイメージ図】



データ分析で工場設備を自動診断するシステムの開発

工場設備のメータを自動で読み取り、日常点検として記録しながら、計測データ（振動、電流、音等）から設備のモータ軸受をリアルタイムに診断し、異常を通知するシステムを開発した。





岐阜県食品科学研究所

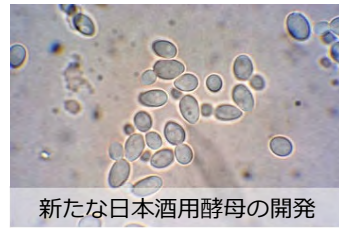


[対応可能分野]

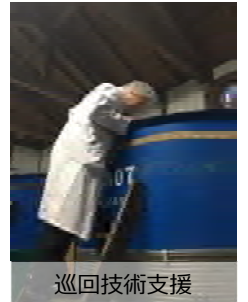
食品加工分野

[得意技術]

- ・清酒・味噌・醤油などの醸造・発酵技術
- ・寒天、米菓、その他地域食材を用いた食品加工技術
- ・食品の機能性の分析・評価技術



新たな日本酒用酵母の開発



巡回技術支援

[支援メニュー]

技術相談、依頼試験、機器利用（開放試験）
 各種研修会・講習会、研修生受入
 出前講座、共同研究、受託研究
 食品開発プロモータ派遣



依頼試験



研修生受入（インターンシップ）

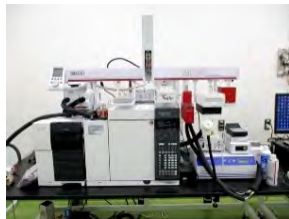
[主な機器・設備の紹介]

✓ クリーンルームエリア



微生物検査室

✓ 成分分析・理化学実験エリア



香気成分分析装置



低真空電子顕微鏡



超高速液体クロマトグラフ
光学質量分析システム

✓ 醸造・発酵エリア



清酒醸造用タンク



麹室



官能評価室

✓ その他

- マイクロプレートリーダー
- リアルタイムPCR装置
- 原子吸光分光光度計
- 窒素測定装置
- 紫外可視分光光度計
- フーリエ変換赤外分光光度計
- 熱分析装置
- 食品物性測定装置（レオメーター）
- ラピッドビスコアライザー
- 醸造用縦型精米機
- 蒸米機
- ショックフリーザー（急速冷凍・凍結）
- 真空凍結乾燥機
- 燻煙器

✓ 交流・食品加工エリア



加工実験室



ニードラー



レトルト殺菌装置

お問い合わせ

TEL : 058-201-2360

[当所のお役立ち事例]

特別栽培米の米ぬかを有効活用した発酵ぬか床の開発を支援



◆技術相談の概要

廃棄されている特別栽培米※の米ぬかを有効活用できないか、という相談がありました。

※対象農薬や化学肥料を地域慣行レベルの5割以下に抑えて栽培した米

◆支援概要

県の保有する“オリジナルの乳酸菌”と企業の“味噌醸造技術”を融合させた「醸しぬか床」を新たに開発し、商品化しました。米こうじと乳酸菌の並行複発酵により以下を実現しています。

- ・速やかな乳酸発酵で雑菌汚染を防ぐ（ヒスタミンの生成抑制）
- ・良好な酸味と風味があり、ぬか床を使用する前の熟成作業「捨て漬け」が不要で、開封後そのまますぐに使える
- ・化学調味料、食品添加物無添加

紫外線刺激から肌を保護するリコピン含有トマト「いとしろ白山姫」の発売を支援



◆技術相談の概要

トマトのブランド化、高付加価値化について相談を受け、食品開発プロモータ派遣事業※を活用した支援を開始しました。

※食品開発に関する課題等を抱える企業に、専門知識や技術を持つ人材(食品開発プロモータ)を派遣して課題解決を図る県事業

◆支援概要

- ・機能性表示食品全般に関する情報の提供・活用のアドバイス
 - ・生鮮トマト「麗夏」商品企画の相談
 - ・機能性表示食品届出に必要なデータの収集
 - ・機能性表示食品届出書類の作成
 - ・生鮮トマト「麗夏」販売戦略の相談 等の支援を実施。
- リコピンによる「紫外線刺激から肌を保護するのを助ける機能」とGABAによる「高めの血圧を低下させる機能」の2つの機能が期待できる、日本で初めての生鮮トマトとして販売を開始しました。

[当所のご利用] 来所、電話などでご連絡ください。

■本所



住所 〒501-1112 岐阜県岐阜市柳戸1番1
 電話 058-201-2360 (代) FAX 058-201-2363
 メール info@food.rd.pref.gifu.jp
 ホームページ <http://www.food.rd.pref.gifu.lg.jp/>

【アクセス】

- 岐阜大学バス停から徒歩約5分
- 岐阜バス 岐阜大学下車（C70系統、N45系統）
 ※JR岐阜駅、名鉄岐阜駅より約30～35分
- 自動車 岐阜大学正門より入構、駐車場ゲートにて当所ご来所の旨をお伝え下さい。

■寒天研究室 〒509-7607 岐阜県恵那市山岡町下手向1865-1 電話 0573-56-2556

【アクセス】明知鉄道山岡駅より徒歩15分



岐阜県セラミックス研究所

[対応可能分野]

窯業、化学、材料、電気・電子
情報、デザイン

[得意技術]

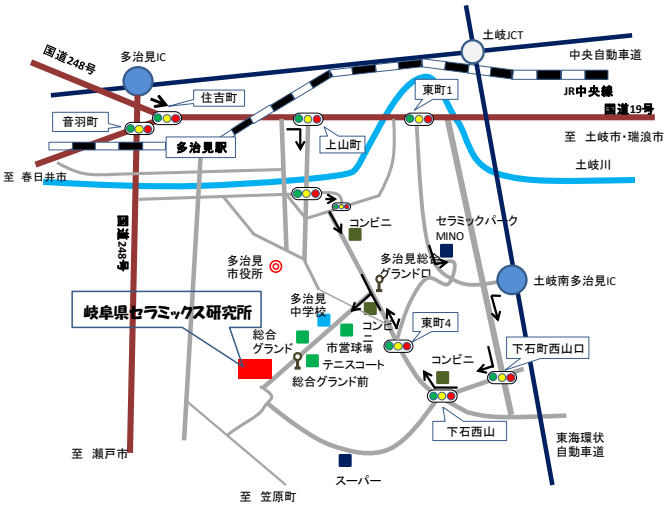
陶磁器原料・釉薬調合技術、成形技術
焼成技術、機能性セラミックス、
デザイン・加飾

[支援メニュー]

技術相談、依頼試験、機器利用(開放試験)
中小企業技術者研修、各種講習会、研修生受入
出前講座、共同研究、受託研究

[当センターのご利用]

来所、電話などでご連絡ください。
相談内容によって適切な担当者におつなぎします。



住所 〒507-0811 岐阜県多治見市星ヶ台3-11
電話 0572-22-5381 FAX 0572-25-1163
メール info@ceram.rd.pref.gifu.jp
ホームページ <http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>

[アクセス]

東鉄バス	総合グランド前下車	徒歩約 3分
	総合グランド口下車	徒歩約15分
タクシー	多治見駅より	約15分
自動車	中央自動車道多治見インターより	約15分
	東海北陸自動車土岐南多治見インターより	約5分

お問い合わせ TEL: 0572-22-5381

[当所のお役立ち事例]

高精細多積層転写技術を用いた透かし情報タグによる製品のブランド化

◆技術相談の概要

海外での日本食ブームを背景に、品質の良い、日本製陶磁器を望む海外ユーザーが多い。その一方で、偽物(粗悪な原料や粗雑な手法、落款印を偽装した精巧な模倣品)が横行し、正規品と模倣品を容易に区別できるようにしたい。

◆支援概要

当所が保有していた技術シーズを活用し、陶磁器製品のデザインに影響を与えず、模倣が困難な蛍光材料を用いた情報タグを製品に印刷する高精細多積層転写技術を開発しました。模倣品を排除することを目的としたこの見えない情報タグは、ブラックライトを照射すると発光して浮かび上がり、スマートデバイスにて読み取ることが出来ます。(特許第6901730号取得)

通常光でのデザイン



意匠にも応用可能



ブラックライト照射時のデザイン



QRコードを表示

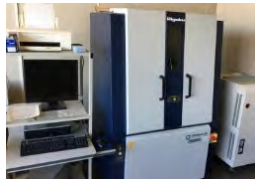


[主な機器・設備の紹介]

✓ 分析機器



蛍光X線装置



X線回折装置



熱分析装置



粒度分布測定装置



誘導結合プラズマ発光分光分析装置



原子吸光度計



水銀ポロシメーター



比表面積測定装置



走査型電子顕微鏡/EDX



レーザー顕微鏡

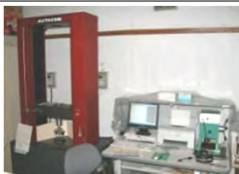


高温熱伝導測定装置



熱膨張測定装置

✓ 材料物性試験機



曲げ強度試験機



衝撃試験機



万能試験機

✓ 粉碎・混合機



ジョークラッシャー



ロールクラッシャー



アトリションミル



フィルタープレス

✓ 成形機



圧力鋳込み成形機



真空土練機



プレス成形機



機械ロクロ

✓ 焼成炉



マイクロ波ガス複合炉



電気炉



ホットプレス



高温真空炉

✓ 加工機



簡易切断機



簡易切断機(ダイヤモンドホイール)



切断機



平面研削盤



岐阜県生活技術研究所



岐阜県生活技術研究所は、家具装備品製造業、木材・木製品製造業を対象に原材料、生産加工、表面処理、デザイン等の各分野の試験研究を行っています。素材技術、生産技術等の分野に加え、人間と製品及び住環境のあり方に関して、人間生活工学的評価に基づく、生活者からみたモノづくりや製品企画・評価を中心とし、福祉用具開発、住環境計測、エコマテリアル技術開発等を主とした生活関連産業を支援する研究機関です。

所在地 〒506-0058 高山市山田町1554番地

電話 (0577)33-5252

FAX (0577)33-0747

職員数 18名(うち研究員数12名)

E-mailアドレス：info@life.rd.pref.gifu.jp

ホームページ：<https://www.life.rd.pref.gifu.lg.jp/>

JR高山本線「高山駅」下車 タクシー10分

中部縦貫自動車道（高山清見道路）「高山西IC」より車で15分



研究開発：快適な生活環境を創出するための研究を行います

(得意分野：木質系材料分野、住宅、住環境、福祉用具分野)

技術支援：製品評価、人間生活工学、デザイン、材料・製品試験検査を支援します

(関連の依頼試験、開放機器利用、技術相談、人材育成、受託研究)

主な機器・設備の紹介

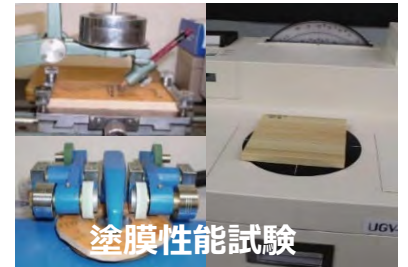
木質材料の加工や、表面物性を測定



木工用加工機



材質特性評価装置



塗膜性能試験

木材成分を分析、感性評価



におい嗅ぎ装置付き GC-MS



照明環境シミュレーション



体圧分布装置

木製品の耐久性、音響特性、寸法安定性を測定



椅子耐久性試験機



音響特性評価装置

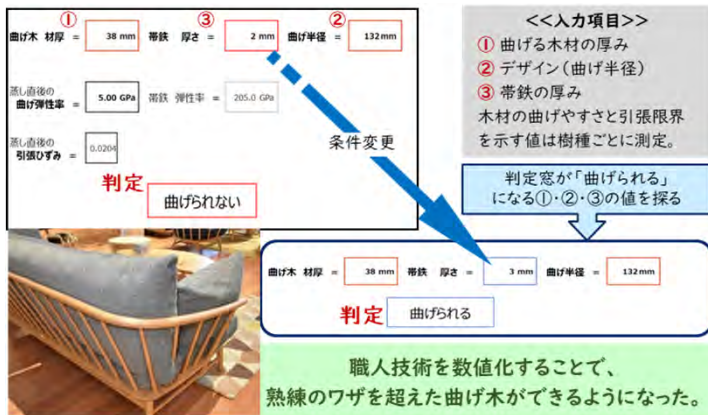


ダブルチャンバー式環境試験室

これまでの主な研究・支援事例

曲げ木に関する研究・支援

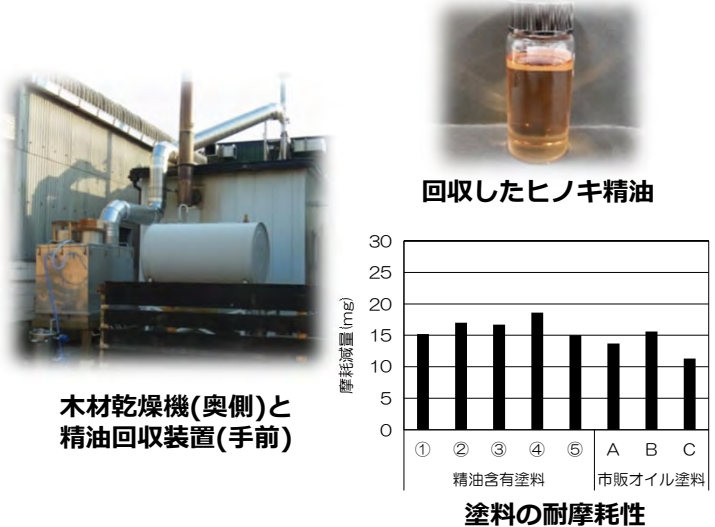
- 多様な樹種、多様なデザインに対応可能な製造技術を支援。
- 曲げ木の可否を自動的に判定するプログラムを開発。



- より小さな曲げ半径に対応。
- 不良率を大幅に改善。

木材乾燥精油に関する研究・支援

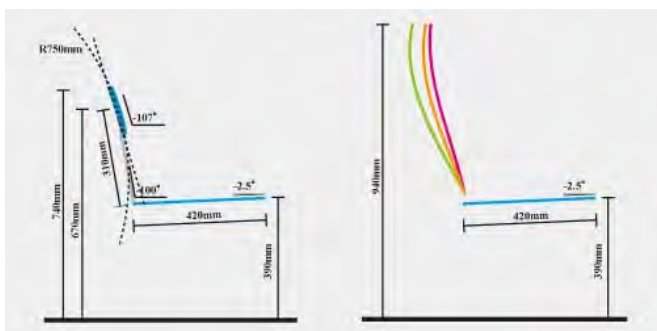
- 精油回収装置の実証試験を実施し、木材乾燥条件を最適化。精油生産性が向上。
- 精油を含有した木部保護塗料を試作し、新たな活用方法を提案。



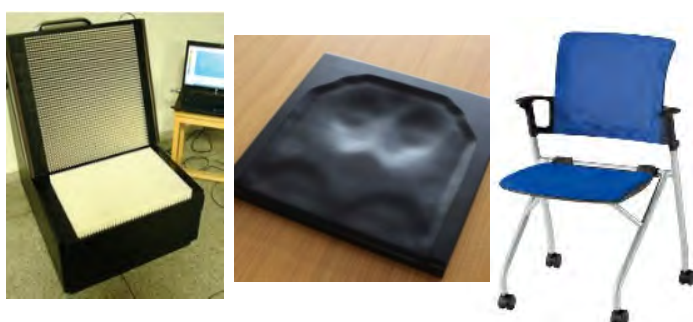
人間工学による設計支援・製品化

- 座り心地の良い椅子開発をしたい。
- 身体計測、生理計測・官能評価等に基づき、椅子の設計指針を提案。
- 臀部形状計測機の開発、椅子の商品化。

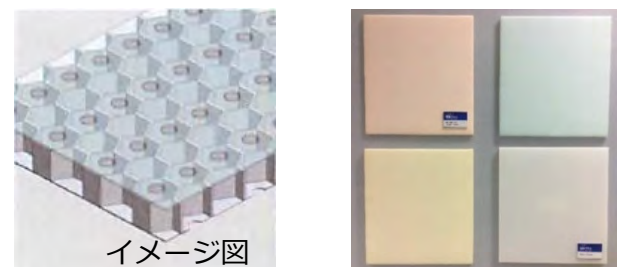
設計指針



商品例

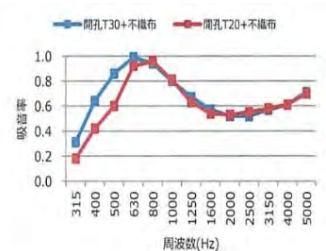


「軽量・高剛性」のTECCELL (テクセル) を基材とした吸音パネルの開発



商品名：セイント

- テクセル既製品の用途を広げたい。
- 表面に微細な開孔を設けることにより、ヘルムホルツ効果により、吸音性がアップすることを提案。
- 当所の音響評価装置により、各周波数の吸音特性を明確にした



テクセル+不織布の吸音率



三重県工業研究所

(URL) <http://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/>



地域の発展を支援する中核的機関として企業の技術課題解決や新分野展開挑戦を支援します！

各課室の紹介

企画調整課

- 企画、総務業務

プロジェクト研究課

- 企業、支援機関との連携(共同研究等)

エネルギー技術研究課

- エネルギー技術の試験研究、技術支援



ものづくり研究課

- 機械・金属加工等基盤技術の試験研究、技術支援
- 有機・無機材料の試験研究、技術支援

食と医薬品研究課

- 食品及び発酵食品の試験研究、技術支援
- 薬事関連の試験研究・技術支援



金属研究室

- 金属材料の試験研究、技術支援
- 鑄造技術に関する試験、研究・技術支援



窯業研究室

窯業研究室(四日市市)

- 窯業材料及び製品の試験研究・技術支援
- 窯業製品のデザイン開発・技術支援
- エネルギー技術の試験研究・技術支援

窯業研究室伊賀分室(伊賀市)

- 陶磁器の原材料及び伊賀焼製品の試験研究・技術支援



電子機械研究課

- 電子関連技術の試験研究、技術支援
- 医療機器及び福祉用具の試験研究、技術支援



業研究所の主な業務

技術トラブルで困っている！
開発のアドバイスが欲しい！

技術相談

製品開発、品質管理、試験方法など
電話、メール、面談でご相談ください
補助金申請に向けた技術相談などもOK！
オンライン技術相談もスタート！

試験データを取りたい！
でも試験機を持ってない！

機器開放

所有する200台以上の
機器をお貸しします

測定とか分析とか
やってもらえるの？

依頼試験

工業研究所に試験をご依頼いただき
その結果を報告します

会社の新人に
技術指導をしたい！

人材育成

技術者のみなさまを対象に
セミナーや出前での講座を
随時開催しています

〇〇を使って〇〇の
試作開発をしたい！
現場の技術トラブルの
対策をとりたい！

技術支援

期間を決め、技術的なアドバイス
や機器利用などで課題を解決します

新しい技術開発を
手伝ってほしい！

共同研究 受託研究

企業の製品開発や課題解決を、
工業研究所がご支援します
産学官連携も推し進めています

交付金等による整備機器

砂型積層造形装置

(Sand Casting Meister SCM-10)

平成29年度補正予算「地域における中小企業の生産性向上のための共同基盤事業」



X線CTシステム

(株式会社島津製作所製)

inspeXio SMX-225CT FPD HR Plus)

平成30年度補正予算「地域未来オープンイノベーション・プラットフォーム構築事業」



<http://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/000124546.htm>

交通案内

- 三重県工業研究所(TEL:059-234-4036)
〒514-0819 三重県津市高茶屋5-5-45



- 金属研究室(TEL:0594-31-0300)
〒514-0937 三重県桑名市大字志知字西山208



- 窯業研究室(TEL:059-331-2381)
〒510-0805 三重県四日市市東阿倉川788



- 伊賀分室(TEL:0595-44-1019)
〒518-1325 三重県伊賀市丸柱474





ーとやま発・イノベーションを支援ー

富山県産業技術研究開発センターでは、各種設備と拠点機能を整備し、企業の技術力向上に向けた技術支援メニューを強化しています。また、それぞれの研究所が、オープンイノベーションによる新技術の創出、地域資源を活用した産業形成の支援に取り組んでいます。

組織体制

地域の産業集積に対応し、3研究所体制で企業をバックアップしています。



ものづくり研究開発センター（高岡市）

金属、樹脂、複合材料など素材の成形・加工技術の研究開発から製品試作・評価まで、「ものづくり研究開発」を切れ目なく支援します。

生活工学研究所（南砺市）

「衣」、「食」、「住」といった人間生活に関係する産業製品や生活資材の開発を支援するための試験研究及び指導を行っています。

機械電子研究所（富山市）

デジタルエンジニアリング技術、データ計測に関するモニタリング技術および機能性電子デバイス技術や信頼性評価技術について支援します。

産業形成に向けた拠点機能整備

高機能新素材



自然環境負荷試験室



ものづくりライブラリー

産学官・異業種連携によるイノベーションをハード・ソフトの両面から支援します。

オープンイノベーション・ハブ&製品機能・環境負荷評価ラボ
(ものづくり研究開発センター)

ヘルスケア



生活環境シミュレータ



快適感覚計測システム

ヘルスケア製品開発において、感覚、生理、動作等の人間特性を客観的に計測評価します。

ヘルスケア製品開発棟
(生活工学研究所)

IoT・AI



環境試験装置



試験機器集中管理システム

設計から評価に至るものづくりの一連の工程におけるデジタル変革を支援します。

先端デバイスマルチ信頼性試験室
(機械電子研究所)

特徴ある研究の紹介

次世代産業の形成に貢献できる技術開発を行っています。

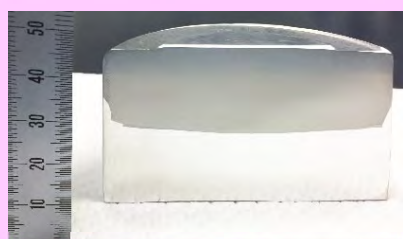
ものづくり研究開発センター



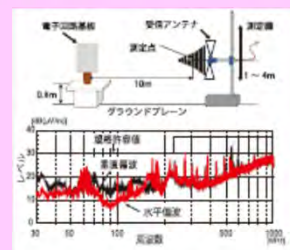
セルロースナノファイバーと樹脂の複合化



金属3Dプリンタによるタングステンの造形



サーボプレスによる異種材料の接合



電磁ノイズの計測とシミュレーション

生活工学研究所



エレクトロスピンングによる防虫ナノファイバーシート



赤ちゃんに快適なベビーキャリアー

機械電子研究所



AIによるチューリップの病株判定



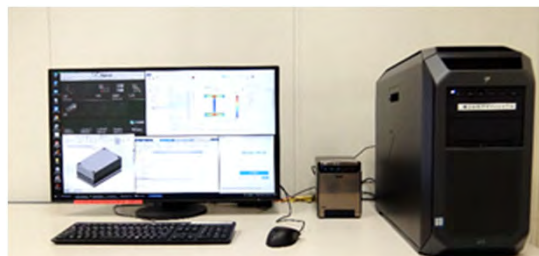
微細加工可能な温度応答性ゲルで製作したマイクロバルブ

新設設備の紹介

高度化する産業技術に対応した最新設備を導入しています。



強誘電体材料の電気特性や変位特性を測定する強誘電体テストシステム



複合材料モデルの設計、CAE解析、最適化設計ができる複合材料デザインシステム



強力な紫外線で試料の劣化を促進させる超促進耐候性試験機



メッキ、アルマイト皮膜等を分析するグロー放電発光分光分析装置



金属材料に含まれる炭素と硫黄の成分量を定量分析する炭素硫黄分析装置



有機物質やガスの定性分析、定量分析ができるガスクロマトグラフ

お問い合わせ 富山県産業技術研究開発センター 企画調整課

〒933-0981 富山県高岡市二上町150

TEL: 0766-21-2121, FAX: 0766-21-2402, E-mail: kik02@itc.pref.toyama.jp

Web: <http://www.itc.pref.toyama.jp/>





石川県工業試験場



企業の皆様の技術的な問題の解決に、工業試験場がお手伝いします。

■ 役割

石川県では、明治9年の勸業試験場から県内産業や技術者の育成に努めてきましたが、昭和37年に繊維工業試験場、機械工業指導所及び工芸指導所を統合した総合試験場となり、昭和58年に現在地に移転しました。

本県では産業振興の新たな指針として、平成26年に「石川県産業成長戦略」を策定し、地域経済の活性化に積極的に取り組んでいます。工業試験場では、この指針を踏まえ、「中小企業の試験室・実験室」を基本コンセプトとして、相談・指導、試験・分析、研究開発を強化・充実させ、既存産業の高度化を支援するとともに、次世代型産業の育成に努めています。

■ 事業の概要

技術相談 **企業の技術課題を解決します**

● 基本的な支援

企業が抱えている技術課題を解決するため、研究職員が場内で面談するほか、企業に出向いてアドバイスします。

● 集中的な支援

県内企業の技術的な問題解決や工業試験場の研究成果を企業に技術移転するため、複数回または複数年度にわたり支援をします。

測定・分析および設備の利用 **開放試験を拡充しています**

● 依頼試験

工業試験場職員が分析・試験・測定し、成績書を発行します。

● 開放試験

企業の技術者自身がおよそ250台の設備（開放機器）を操作できます。

研究・開発 **ニーズに応える研究開発をしています**

● 受託研究

工業試験場の研究テーマに、研究開発段階から企業に参画いただき、製品化を促進します。

● 産学官研究

新製品、新技術開発を、産学官の力を結集して行っています。

● 工業試験場の研究開発

シーズを創出・育成したり、業界共通の技術課題を解決する研究を行っています。

人材養成 **実習やセミナーで機器操作から最新技術まで**

● 研修

機器操作習得研修
基盤技術講習
モノづくり百工塾
研究参画型研修

工業試験場が保有する試作機器や分析機器の操作技術を習得します。
基盤となる技術のセミナーを開催します。
数回にわたる課題実習を通して、幅広い分野の将来を担う中核的技術者を育成します。
企業の技術者・研究者等が、試験場の研究に参画しながら研究開発のノウハウを習得します。

● セミナー

次世代産業育成講座・新技術セミナー 次世代産業の育成に繋がる最新の技術動向について(公財)石川県産業創出支援機構と共催でセミナーを開催しています。

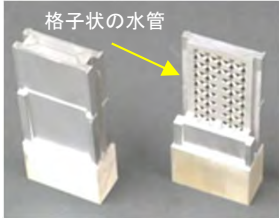
● 研究会の運営

当該分野における幅広いテーマ毎に研究会を運営し、情報交換や会員相互の交流を図っています。

■ 主な研究開発テーマ

近年注目されている技術の活用や新しい分野への進出を技術的に支援するほか、伝統産業や県産資源を活用した製品開発に積極的に取り組んでいます。

3Dプリンタ（金属）造形の活用



金型の内部水管化による製品の高精度化

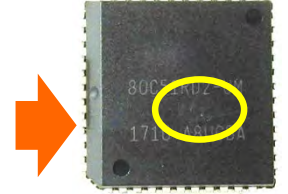


ブルーレーザ肉盛装置によるドアノブへの銅コーティング

製品開発や生産現場でのAI・IoT技術の活用



半導体製品外観検査装置



従来は検出困難だったうすいこすれ傷でもAIで検出可能に

伝統産業における新製品の開発



酸化白色ハイ土を用いた皿

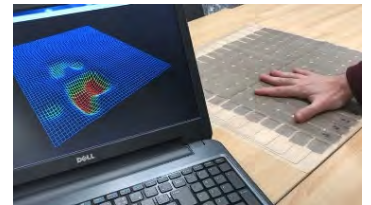


漆塗り革財布

スマートテキスタイル製品の開発



肘の曲げ伸ばしを判別する伸びセンサー



圧力分布センサーシート

発酵技術を活用した新商品の開発



米発酵技術を応用したスポーツ・健康用機能性飲料



酵母抽出エキスを配合したシート美容液マスク

炭素繊維複合材料を用いた製造技術の開発



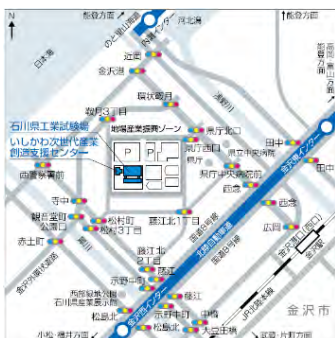
CFRPボルト・ナット



ファイアウォール部材（エンジンルームと運転席の仕切りパネル）

■ 交通と周辺案内

石川県工業試験場



九谷焼技術センター



石川県工業試験場

URL <https://www.irii.jp/>

顧客サービス窓口 076-267-8081 service@irii.jp

- | | | | |
|---------|--------------|-------------|--------------|
| □ 管理部 | 076-267-8080 | □ 繊維生活部 | 076-267-8083 |
| □ 企画指導部 | 076-267-8081 | □ デザイン開発室 | 076-267-8085 |
| □ 機械金属部 | 076-267-8082 | □ 化学食品部 | 076-267-8086 |
| □ 電子情報部 | 076-267-8084 | □ 食品加工技術研究室 | 076-267-8086 |
- 金沢市鞍月2丁目1番地 〒920-8203 FAX 076-267-8090

□ 九谷焼技術センター 0761-47-3631

小松市正蓮寺町は21番地の3 〒923-0151 FAX 0761-47-3632



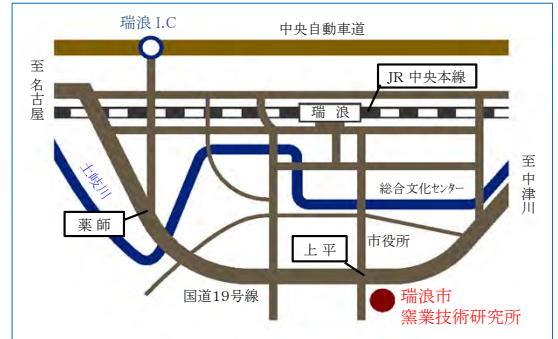
瑞浪市窯業技術研究所

陶磁器に関する様々な支援で企業をサポートいたします

昭和44年に「窯業技術指導所」としてスタートしてから陶磁器に関する様々な研究開発や商品開発、人材育成等の支援を行っています。

近年は、3次元CADと切削加工機による商品開発や技術支援、人材育成を進めております。

また、陶磁器の伝統文化と技術を伝え継承していくため、技術講座や食器デザイン展の開催、地域の作陶活動の支援等にも取り組んでいます。



- 〒509-6122
岐阜県瑞浪市上平町5丁目5番地の1
- TEL : 0572-67-2427
- メールアドレス : yogyo@city.mizunami.lg.jp
- 受付 : 平日 8時30分～17時15分

主な業務

- 依頼試験・試作
- 技術相談
- 各種技術講座・講演会の開催
- 設備機器の貸出
- 児童生徒食器デザイン展の開催
- 地域活動の支援

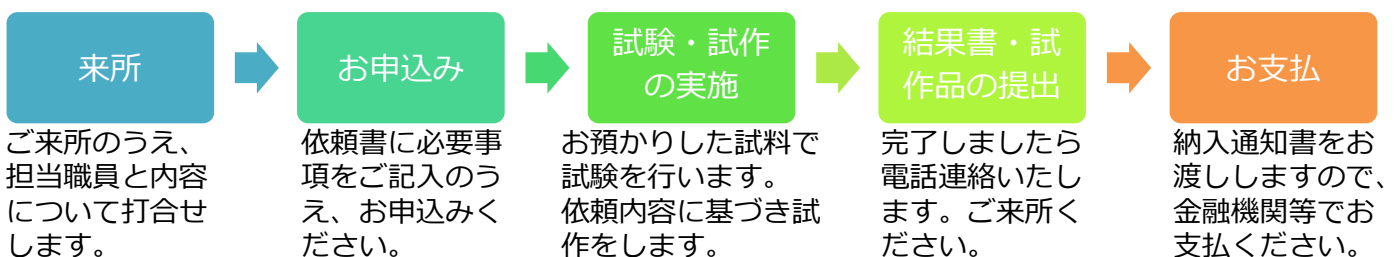
依頼試験・試作手数料と設備機器使用料

試験試作手数料		単位	手数料		設備機器使用料		単位	使用料	
			市内	市外				市内	市外
粒度分析		1 試料	3,000円	4,500円	窯業機器	1 回	500円	750円	
鉛・カドミウム溶出試験		1 試料	600円	900円	電気炉 20kW	850℃ 以下	1 回	6,000円	9,000円
スポーリング試験		1 試料	1,800円	2,700円		1250℃ 以下	1 回	9,000円	13,500円
模型、原型試作		1点1時間	3,000円	4,500円	電気炉 10kW	850℃ 以下	1 回	4,000円	6,000円
意匠試作		1点1時間	3,000円	4,500円		1250℃ 以下	1 回	8,000円	12,000円
CAD CAM 試作	データ作成	1点1時間	3,000円	4,500円	電気炉 5kW	850℃ 以下	1 回	2,000円	3,000円
	切削加工	1点1時間	500円	750円		1250℃ 以下	1 回	4,000円	6,000円

● 項目により材料代等の実費が加算されます。詳細についてお問い合わせください。

ご利用の流れ

お問い合わせ TEL:0572-67-2427 メール : yogyo@city.mizunami.lg.jp



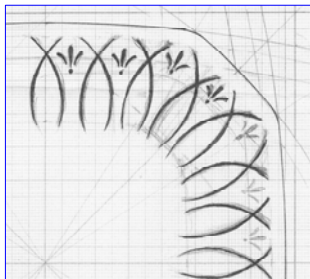
● 郵送やメール、電話やFAXでの依頼申込み受付や結果の通知は行っておりません。

年間100社を超える事業者の方がご利用しています

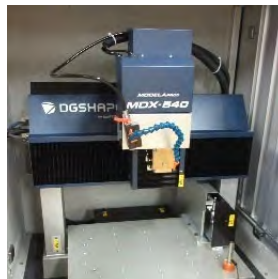
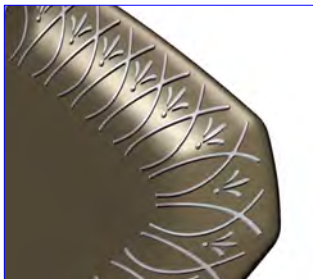
地元の企業をはじめ、陶芸家や公民館、地域の人たちの活動を支援しています

利用例1 商品の開発で利用

- 3次元CADと切削加工機を使って石膏モデルを制作



図面や寸法を基に3次元CADデータを作成します



切削加工機で石膏モデルを制作することができます。



- 「ものづくり研究会」への参加



令和元年度から商品企画などの可能性を検討する研究会を開催しています。講師の指導のもと、参加者が自由に意見を出し合い、商品化に向けて試作などを行います。

令和元年度 各社の商品開発における取り組みと課題
2年度 クラフトビールに合う器
3年度 SDGs時代の新たな視点

利用例2 製品の品質管理で利用

- 品質の検査をすることで、未然にトラブルを防ぐことに役立ちます。

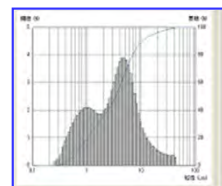
3項目の製品試験検査を行っています。対応していない検査については近隣の試験機関を紹介いたします。納品先での商品破損等の原因などについても相談を承っています。



【鉛・カドミウム溶出試験】
上絵製品等からの鉛やカドミウムの溶出の有無を調べることができます。



【スポーリング試験】
加熱した製品を急冷して欠陥の有無を調べます。



【粒度分析】
粘土や原料の粉の分布状態を測定してどれくらい細かいのか分析できます。



利用例3 技術や陶磁器について学ぶ

夜間講座を開催しています。受け継がれてきた陶磁器の技術を学ぶ技術講座、釉薬や陶磁器に関する基本的な知識を学ぶ講座、CADソフトで形状データの作成方法を学ぶ講座など年間を通じて開催しています。



染付講座



石膏講座



釉薬講座



CAD講座



陶磁器セミナー



多治見市陶磁器意匠研究所



陶磁器産業の発展及び技術の向上並びに世界に向けてやきものの魅力を発信するため、人財育成及びデザイン支援、技術支援を行っています。

※多治見市役所では“人材”を“人財”と表記しています。



人財育成事業

美濃焼業界をはじめ全国の陶磁器生産地や、さらには海外をフィールドとして、やきもののあらゆる分野で活躍する人財の育成に取り組んでいます。

全国各地から集った若者たちが、土練りから成形技術、デザインや陶磁器釉薬の知識まで広くその技術と知識を学び、明るい雰囲気の中、陶磁器の明日と自らの将来を真剣に考える研修期間を過ごしています。



デザイン支援事業

美濃焼陶磁器業界の支援を目的に、幅広いデザイン業務を行っています。3Dプリンター、3Dスキャナーを導入し、形状サンプル見本、樹脂原型としての活用を支援するとともに、地元企業の方々と連携し、さらなる有効活用について研究しています。



技術支援事業

時代のニーズに応じた陶磁器に関する技術支援・食器安全対策を行っています。製造方法や管理体制に起因する製品の欠陥に対し、問題解決のため、業界の方からの技術的な相談に対応しています。



お問い合わせ

多治見市陶磁器意匠研究所

〒507-0803 多治見市美坂町2丁目77番地

電話：0572-22-4731 ファクス：0572-25-0983

メール：ishoken@city.tajimi.lg.jp

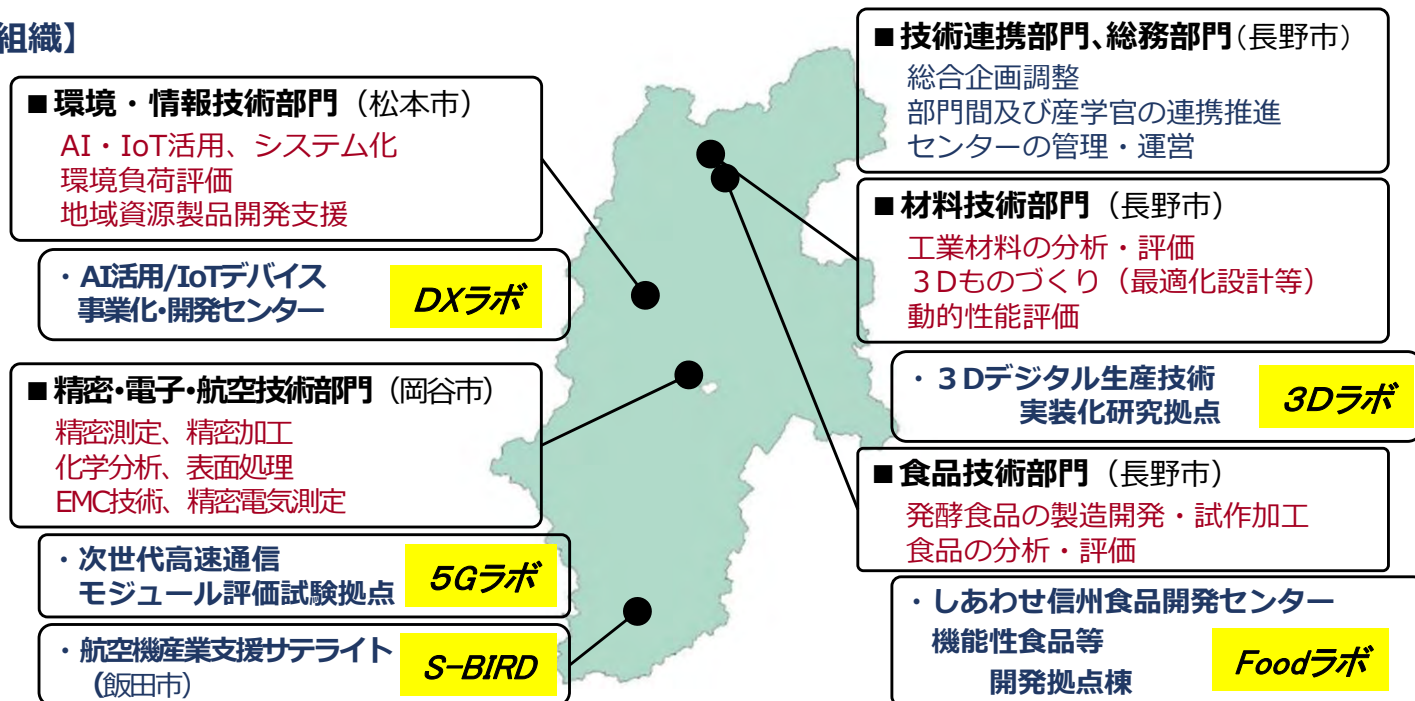


長野県工業技術総合センター



長野県工業技術総合センターは、技術相談、依頼試験、施設利用、研究開発、人材育成、情報提供、技術連携支援等により、中小製造業等の皆様の様々な問題の解決をお手伝いしています。

【組織】



【業務内容】

○ **緊急・日常的 課題解決（基本業務）**：①技術相談、②依頼試験、③施設利用

○ **中長期的 課題解決（基本業務）**：④研究開発(特別、共同、受託、提案公募研究など)、⑤人材育成

○ **コロナ対応や産業振興戦略プラン等に基づく技術支援（重点事業）**

カーボン排出量可視化・削減支援、基盤技術力強化支援、3Dデジタル生産技術支援、食品産業活性化支援、AI/IoTデバイス事業化支援、ポスト5G対応開発支援、地域資源活用

【令和3年度 主な新規設備】

□ **精密・電子・航空技術部門 11機種**（地方創生拠点整備交付金）

極表面複合分析装置、溶液クロマト分析装置、X線膜厚計、熱分析装置、多機能型X線回折装置、機能性コーティング材料調整システム、高速通信モジュール試作装置、高速通信モジュール機械特性評価装置、光学特性測定装置、高速デジタル信号品質評価装置、高周波モジュール評価装置

■ 新規導入設備紹介URL

<https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/shiryo/sinkisetsubi.html>



【特色のある設備の紹介】



金属積層造形装置
(パウダーベッド方式)



熱間等方加压装置
(等方的な圧縮加压と加熱処理)



**液体クロマトグラフ
飛行時間型質量分析計**
(食品機能性成分の定量・定性分析)



極表面複合分析装置
(極表面の原子の種類や数、
化学結合状態の分析)



電波暗室、電磁波評価システム
(電磁波ノイズ試験、アンテナ特性評価)



人体動作解析装置、生体安全評価装置
(動作計測や関節角度計測)

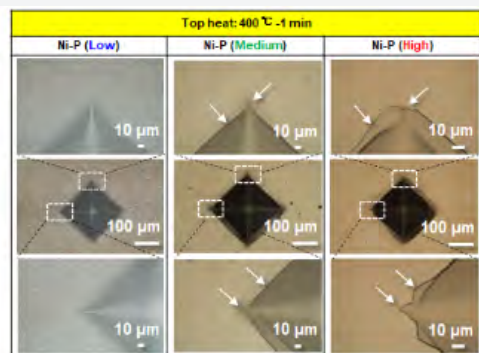
【支援事例】

■ パワー半導体向けめっき技術の開発支援

- リン濃度や加熱温度が異なるめっき皮膜に対して、結晶性の解析やクラック耐性を評価したい

→ 熱分析装置や微小硬度計により評価を実施

クラック耐性評価の結果



〔評価の結果〕

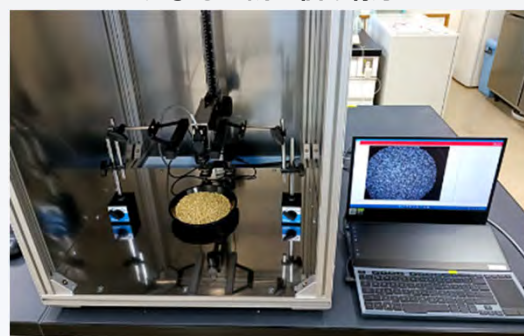
めっき皮膜と基板との間に歪みが生じることによりクラックの発生原因となることが推測できた

■ AIを活用したそばの色調管理による生産性の向上

- そばムキ実の色調について作業者の経験や勘により6種類に分類しているが、ばらつきが課題

→ AIによるそばムキ実の色調評価について共同研究を実施

AIによる色調評価の様子



〔開発の成果〕

AIを活用して6段階色調評価を迅速に判断でき、人の目視判断と同等の結果を得ることができた

長野県工業技術総合センター 技術連携部門

長野県長野市若里 1-18-1 〒380-0928
TEL:026-268-0602 FAX:026-291-6243
E-mail:gijuren@pref.nagano.lg.jp

URL:<https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms>

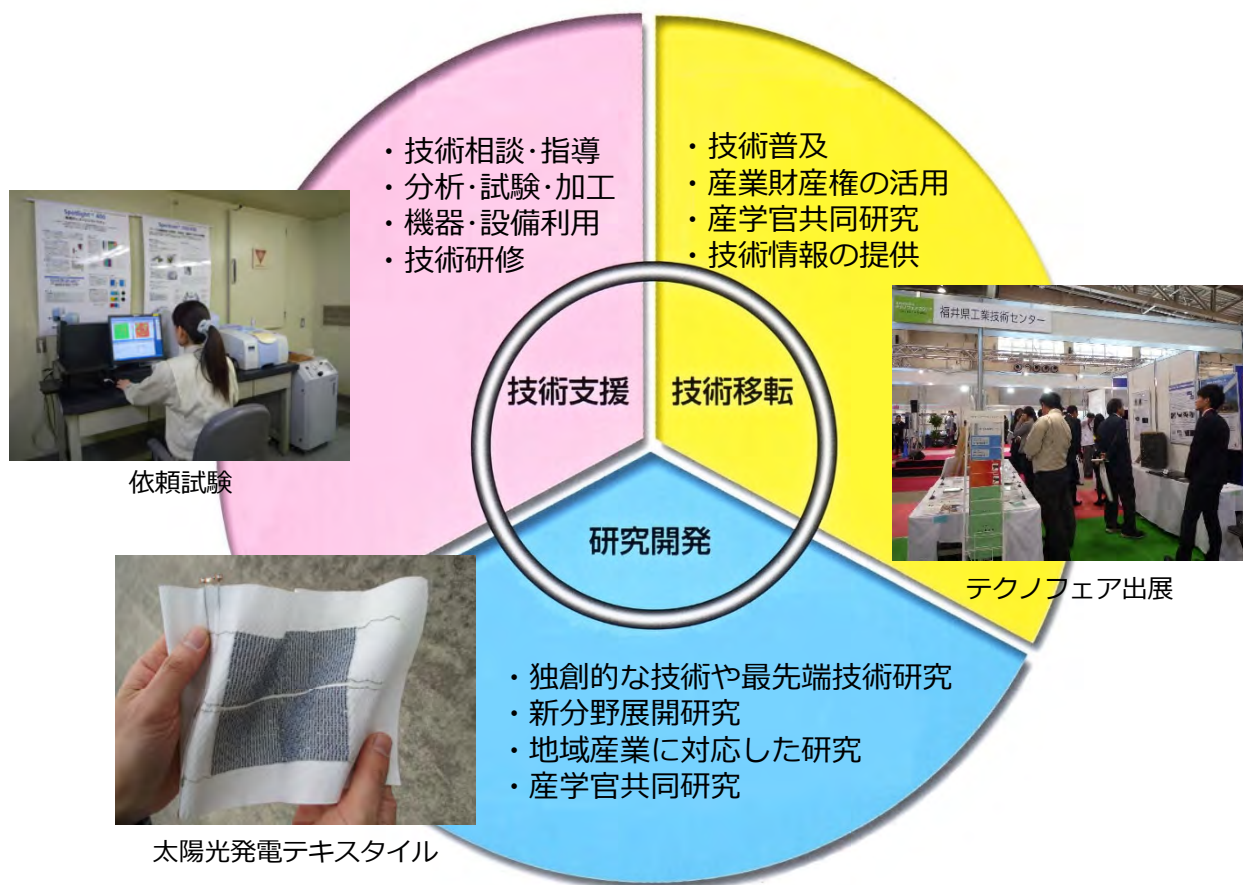


福井県工業技術センター



あなたの会社の技術部です！お気軽にご利用ください。

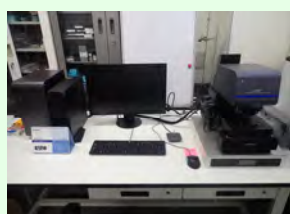
福井県工業技術センターでは、地域に開かれた県内産業の総合的な試験研究機関として、研究開発、技術支援、技術移転を3つの柱として事業を行っています。



主要機器設備



FT-IRイメージングシステム



非接触表面性状測定機
(レーザ顕微鏡)



X線CT装置



三次元座標
測定機



ロボットテクニカルセンター



大動変位振動試験機



オンラインブレンド
射出成形機



電子制御式
経編機

特徴的な研究開発や試験等の紹介

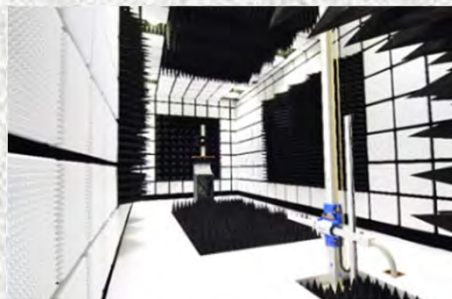
超小型人工衛星の試験

福井県では、「福井県民衛星プロジェクト」において産学官金が連携し、衛星製造から衛星データの利活用まで、様々な面で宇宙産業の拠点化を目指しています。

当センターでは、宇宙の特殊環境に対する信頼性試験を行うことができる設備を整備し、2021年3月に打上げに成功した県民衛星「すいせん」を含む超小型人工衛星の試験を実施しています。



超小型人工衛星



大型電波無響室（6面電波暗室）

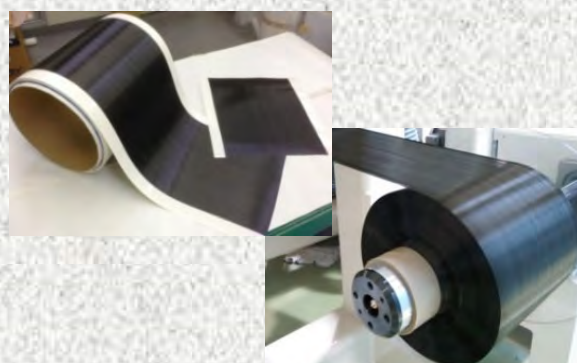


熱真空試験機

開織技術を活用した炭素繊維複合材料の開発

当センターでは、炭素繊維やガラス繊維などの繊維束を連続して幅広く薄くする「開織技術」（特許）を開発し、厚さ0.05mm以下の薄層シートの開発やそれを活用した新しい複合材料の力学的評価を行っています。

開織した熱硬化および熱可塑性繊維に樹脂を染み込ませることで、厚さ0.02~0.1mmの世界最薄レベルの中間基材である「薄層プリプレグシート」を作ることができます。このシートによる新しい複合材料は、従来のものと比べて壊れにくく、軽量化による省エネ化の需要から、航空機、自動車などの輸送用機器への適用が期待されています。



開織技術を用いた炭素繊維薄層プリプレグシート

3D試作センター活用事例

— 金属3Dプリンタを活用した眼鏡金型設計 —

3D試作センターでは、3Dを活用したものづくり全般（3次元によるデザイン・設計、形状測定、解析、加工）を支援しています。

金属3Dプリンタを活用した支援では、特徴である内部中空形状やポラス造形を適用し、樹脂流動解析と組み合わせることで眼鏡金型製造技術の開発を県内企業と行いました。開発した金型は、従来の金型と比べて高価ですが、段取り時間や1ショットあたりの時間が短縮できます。



金属3Dプリンタ



開発した金型と射出成形した眼鏡フレーム

◇お問い合わせ◇

- 〒910-0102 福井市川合鷺塚町61字北稲田10
- TEL/0776-55-0664
- FAX/0776-55-0665
- E-mail/kougi@fklab.fukui.fukui.jp
- <http://www.fklab.fukui.fukui.jp/kougi/>



◇交通のご案内◇

- JR線ご利用の場合
 - ・ JR 春江駅から徒歩約25分
 - ・ JR 福井駅下車：路線バス約25分 京福バス エンゼラランド線、運転者教育センター線 つくしの団地下車 徒歩3分
- お車ご利用の場合／北陸自動車道
 - ・ 福井北IC下車 約10km 約25分
 - ・ 丸岡IC下車 約8km 約20分



国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター

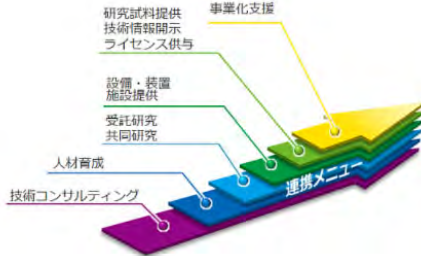


そうだ！
「産総研」があった！



総合力で課題解決

基礎から応用まで、
様々なステージで
企業の皆様をサポート
いたします。



「産総研中部センターについて」

産総研中部センターは産総研の研究拠点の一つです。ものづくり産業の集積地である中部地域において、「機能部材技術」を核に「材料系ものづくりの総合的な研究拠点」を目指しています。研究を実施する研究ユニットとしては、極限機能材料研究部門、マルチマテリアル研究部門、磁性粉末冶金研究センター、窒化物半導体先進デバイスオープンイノベーションラボラトリーの4つを設置し、約100名の研究者が日々、研究活動に従事しています。また、パートナー企業名を冠した連携研究室として日本特殊陶業ー産総研カーボンニュートラル先進無機材料連携研究ラボとUACJー産総研アルミニウム先端技術連携研究ラボが配置されています。

「産総研とは」

産業技術総合研究所（産総研）は「ともに挑む。つぎを創る。」の理念のもと、政府が推進する産業技術・イノベーション政策を、中核となって実施する国立研究開発法人です。7つの研究領域を持ち、つくばセンターをはじめ全国に11か所の研究拠点をおく日本最大級の公的研究機関として、産総研の総合力を生かし、「世界に先駆けた社会課題の解決と経済成長・産業競争力の強化に貢献するイノベーションの創出」をミッションに掲げ、各種の活動を推進しています。



中部センター

〒463-8560 名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞2266-98
(2022年11月26日以降は、住所が以下に変更されます)
〒463-8560 名古屋市守山区桜坂四丁目205番地



技術相談や連携についてのご案内

技術相談のお問い合わせ
TEL:052-736-7370

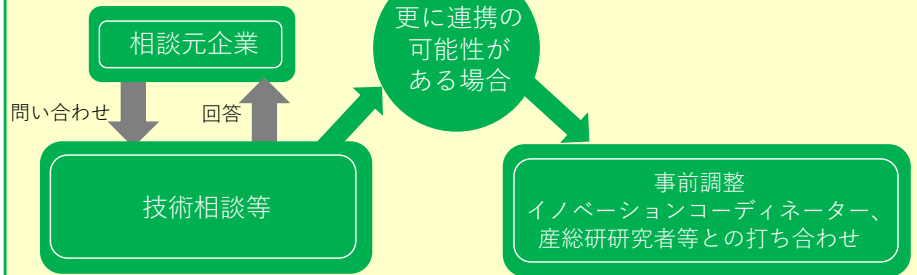
中部センターでは、オール産総研のシーズ、特に材料・化学に関する研究開発のシーズをもとに、この地域の企業の皆様のニーズに応える連携のハブとして積極的に活動しています。製品開発などにおける技術的な課題について、中部センター公式ホームページの技術相談フォームからお問い合わせいただけます。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

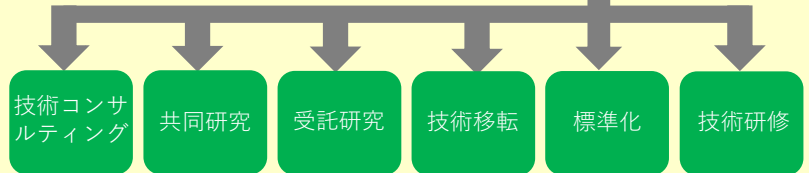
https://www.aist.go.jp/chubu/ja/collabo/consultation_form.html



【主な連携の流れ】



【主な連携メニュー】



主な連携メニュー

●技術コンサルティング

最先端の研究開発で培った技術力を活かしたコンサルティングにより、新規事業の立ち上げや新製品・サービスの創出をサポートします。

●共同研究

産総研の研究ポテンシャルを活用しながら、共に知恵を出し合い、より一層大きな研究成果を生み出していくための制度があります。

●受託研究

皆様から受託した研究テーマについて、産総研が研究開発を行います。

●技術移転

産総研の知的財産をご利用いただけます。ライセンスに関する技術相談や技術評価、ライセンス締結までをサポートします。

●標準化

標準化は新しい技術や優れた製品をすみやかに普及させるビジネス・ツールとして有効です。標準化のノウハウを生かして、市場拡大や海外展開を応援します。

●技術研修

研究者・技術者の方、学生の方は、一定期間産総研で技術を習得していただけます。

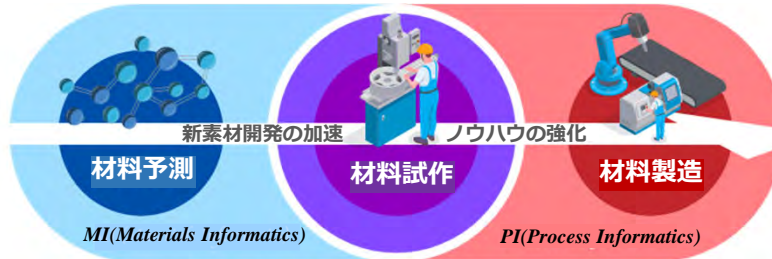


マテリアル産業、
新規材料の
革新的創生へ。

MPIプラットフォームとは

最先端の製造プロセス装置や評価・分析装置群を全国の研究センターに整備し、マテリアル開発・実装に必要なプロセスデータの取得、技術シーズ・ニーズ・人材育成に関わる機能を総合的に提供するマテリアル・プロセスイノベーション（MPI）プラットフォーム計画を進めています。

[拠点利用による社会実装支援]



三つの拠点

材料・化学領域の地域・つくばセンターに拠点があります。

先進触媒拠点

- つくばセンター（茨城県つくば市）

有機・バイオ材料拠点

- 中国センター（広島県東広島市）



目的

MPIプラットフォームは以下の2つの目的達成に向けた活動をおこないます。

① 拠点利用による社会実装支援

製造・評価装置群を活用した研究開発や人材育成を実施することで、開発技術の迅速な社会実装を支援します。

② データ駆動型研究開発基盤の整備

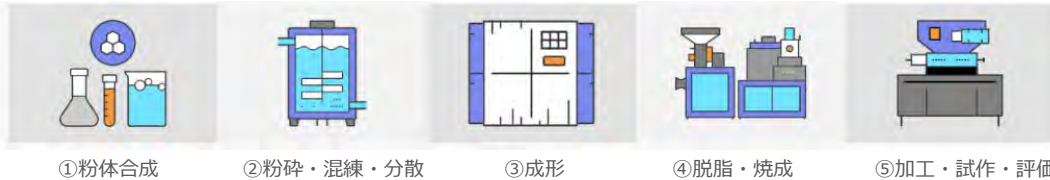
データ科学によって製造プロセスを高度化するプロセス・インフォマティクスに関わる基盤技術を創出します。

セラミックス・合金拠点

●中部センター（愛知県名古屋市）

自動車や航空宇宙機器等のモビリティ用材料等に利用されるセラミックスや合金等について、原料となる粉体合成から部素材に至るまでのプロセス全体を一気通貫で開発する機能を備えた拠点です。

本拠点を活用し、新たな製品開発に必要な部素材試作や、それらの社会実装を加速するなどの開発支援、部素材開発に必要なデータを取得可能な研究開発基盤創出などを整備しており、セラミックス・合金開発が必要な産業界に広く活用いただくために設立されました。



活用事例

ファインセラミックスや合金などの原料・成形・焼成から物性評価まで一気通貫で用意した装置群を利用し、製造プロセスと特性情報をシームレスに結びつけ、原料・成形・焼成と製品に必要な部材試作・開発にいたる一連のプロセスチェーンを実際に試し、企業ニーズに評価へ幅広く対応することが可能です。製造プロセスのファーストトライなど企業での困りごとへの様々なニーズに対応します。

利用可能な装置群

原料合成	ナノ粒子合成装置・複合超微粒子製造装置・噴霧凍結造粒装置
成形・積層	混練一体型押出成型機・大幅シート作製装置・三次元粉末積層造形装置
焼成・試作・加工	還元雰囲気高温焼結炉・低温焼結プロセス装置・マルチスケール気相成長装置



公設試機器・設備検索システムのご紹介

公設試が保有する様々な機器・設備は経済産業省の「全国鉱工業公設試験研究機関保有機器・研究者情報検索システム」から探すことができます。公設試の機器設備の活用をお考えの方は是非ご活用ください。

<https://www.meti.go.jp/kousetsushi/top>



本システムは全国の公設試のウェブサイトで公開されている保有機器または研究者情報を検索・閲覧できるサイトです。

本システムで検索・閲覧できる保有機器または研究者情報は、各公設試サイトから定期的にプログラムによる自動収集を行い、収集結果を本システム内のデータベースに保持しております。

各検索フォームから条件を指定することにより、データベースに保持している情報を検索し閲覧することができます。

検索フォームから条件を指定し、検索実行を行うと条件に合致する保有機器または研究者の一覧を閲覧することができます。「保有機器を探す」検索フォームでは、フリーワード・都道府県について条件指定を行うことができます。

機器等の一部は企業の皆様に開放しており、ご自身で操作いただけます。装置の選定方法、操作方法、取得したデータの解釈など、必要な技術サポートは専門研究員が支援いたしますのでご安心ください。使ってみたい機器、相談したい研究員が見つかりましたら、まずは公設試までご連絡ください。



産業技術連携推進会議（産技連） 東海・北陸地域部会



産業技術連携推進会議（産技連）は、公設の試験研究機関等（公設試）相互、および、公設試と国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携を通して、我が国の産業の発展に貢献することを目的とする組織です。会員機関相互の連携を通じて、各々の試験研究に関わる技術力を高めるとともに、地域の企業と連携する力を高めて、地域におけるイノベーション創出へつなげていくことを使命とします。

産技連URL：<https://regcol.aist.go.jp/sgr/>

産技連の構成

産技連は、企画調整委員会、技術部会、地域産技連、地域部会から構成されています。産技連の会員機関（議員の属する機関）は、技術部会、地域産技連、地域部会およびその下部組織の会員とすることができます。中部地域には、東海北陸地域産技連、および、**東海・北陸地域部会**が設置されています。産技連（全国）の事務局は以下の通りです。

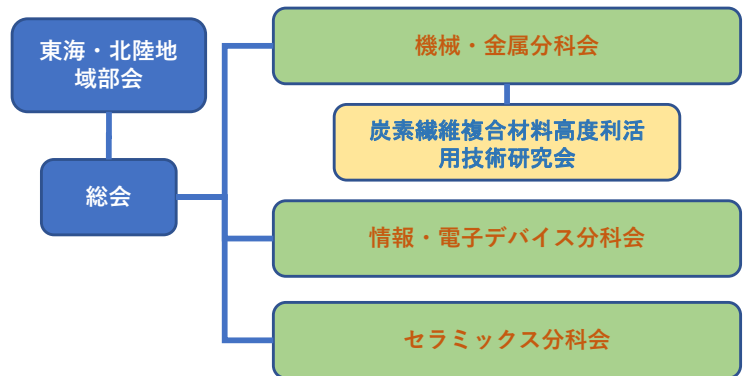
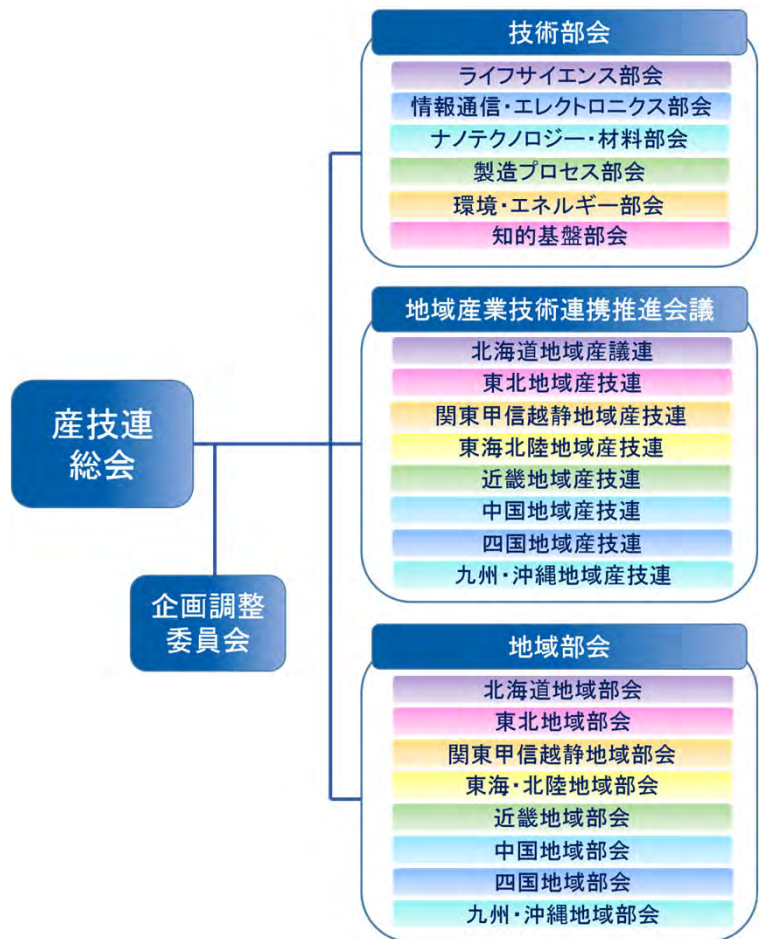
- 【産業技術連携推進会議 事務局】
 経済産業省
 ・産業技術環境局 研究開発課 産業技術総合研究所室
 ・経済産業政策局 地域経済産業グループ 地域企業高度化推進課
 中小企業庁
 ・経営支援部 技術・経営革新課
 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 ・社会実装本部 企業連携部 地域・中小企業室

東海・北陸地域部会の概要

中部地域における社会課題の解決、中堅・中小企業への支援・橋渡しなどの活動を展開します。また、産総研中部センターと公設試、公設試相互間で課題と情報を共有し、連携を強化します。

東海・北陸地域部会では、総会の場において、各機関から活動報告、活動方針について報告し、情報共有、意見交換を積極的に行っています。

また、地域部会は3つの分科会（機械・金属分科会、情報・電子デバイス分科会、セラミックス分科会）および1つの研究会（炭素繊維複合材料高度利活用技術研究会）を有しています。これらの分科会・研究会では、参画機関の連携により、専門的な議論や年度を超えた継続的な活動を行っています。分科会・研究会活動の活性化を通じて、重要なテーマについて研究活動基盤の強化を進めています。さらに、新規テーマについても、分科会・研究会設立などの展開を図ります。



東海・北陸地域部会
 会長：産業技術総合研究所中部センター所長
 副部会長：あいち産業科学技術総合センター 所長

東海・北陸地域部会URL：<https://www.aist.go.jp/chubu/ja/collabo/sangiren/sangiren.html>

各分科会・研究会活動

○機械・金属分科会（参画：9機関）

機械金属工業に関連して、情報交換、相互理解を進め、広域的な連携のあり方や特有の課題について検討し、参画機関の連携を強化するとともに、地域の機械金属関連産業の発展に貢献します。

○炭素繊維複合材料高度利活用技術研究会（参画：9機関）

炭素繊維複合材料（CFRP）の利活用に取り組む各地域の企業が有している課題について、各公設試の保有する技術や機器設備を活用した解決法を探り、研究会員による一貫した企業支援を行います。また、コンポジットハイウェイコンソーシアムへの参加により、大学や産総研等との連携による技術シーズの効率的な活用を検討するとともに、公設試の利用促進や共同研究につなげるための体制整備としてネットワークの拡充を図ります。

○情報・電子デバイス分科会（参画：9機関）

情報・電子工業に関連して、情報交換、相互理解を深め、広域的な連携のあり方や特有の課題について検討し、参画機関の連携を強化するとともに、地域の情報・電子関連産業の発展に貢献します。

○セラミックス分科会（参画：9機関）

セラミックスに関連して、情報交換、相互理解を進め、広域的な連携のあり方や特有の課題について検討し、参画機関の連携を強化するとともに、地域のセラミックス関連産業の発展に貢献します。

研修、セミナー等の支援事例

【中部地域公設試験研究機関活用ガイド】

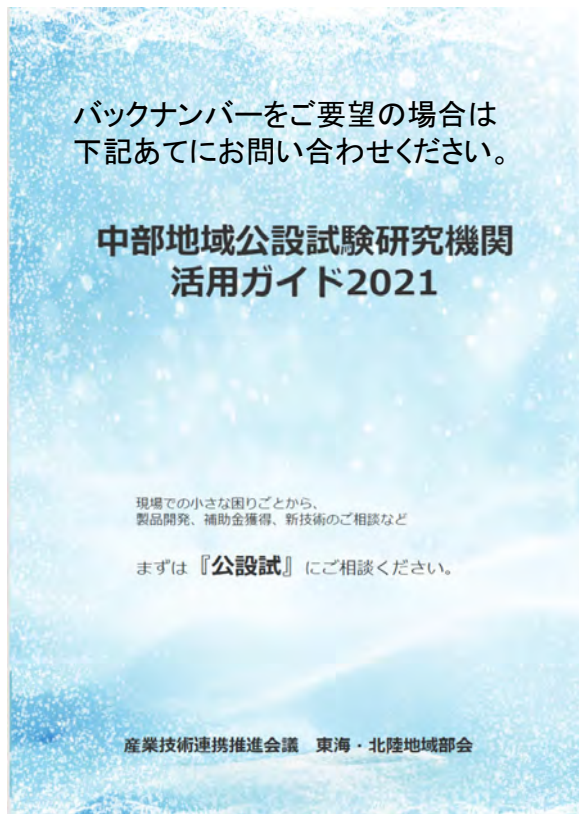
産技連東海・北陸地域部会に所属されている公設試の情報を一冊にまとめ、中部地域公設試験研究機関活用ガイド（本誌）として印刷、配布しています。地域企業と公設試、公設試間、産総研との連携の参考資料としてご利用いただけます。右図は昨年度のものです。

【中部地域若手研究者合同研修連携セミナー】

中部地域の公設試験研究機関、および、産総研中部センター若手研究者・職員、中部経済産業局若手職員等を対象とし、将来、研究活動・技術開発、技術指導、地域貢献を進めていく上で必要な基礎的な知識・スキルを身に付けるとともに、実際の生産現場に触れることにより、政策課題を自ら抽出し、研究・支援活動、イノベーション創出に反映させていくこと、並びに、若手研究者等の組織を超えた人的ネットワークの形成を図ります。

【地域産業活性化人材育成事業人材育成事業】

本事業は産総研による地域イノベーションへの貢献のため、産業技術連携推進会議（産技連）の活動により培われた人的ネットワークを活用し、産総研において産総研研究者と公設試職員が共同で地域課題の解決を目指す研究活動を支援するものです。



お問い合わせ

東海・北陸地域部会事務局（産総研中部センター産学官連携推進室）

〒463-8560 名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞2266-98

（2022年11月26日以降は、住所が以下に変更されます）

〒463-8560 名古屋市守山区桜坂四丁目205番地

E-mail: sangi_toukai_jimukyoku-ml@aist.go.jp



東海北陸地域部会中部地域公設試研究機関リスト

■愛知県

- あいち産業科学技術総合センター
〒 470-0356 豊田市八草町秋合1267-1 ☎ 0561-76-8301
- あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター
〒 448-0013 刈谷市恩田町1丁目157番地1 ☎ 0566-24-1841
- あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 常滑窯業試験場
〒 479-0021 常滑市大曾町4丁目50番地 ☎ 0569-35-5151
- あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 三河窯業試験場
〒 447-0861 碧南市六軒町2-15 ☎ 0566-41-0410
- あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 瀬戸窯業試験場
〒 489-0965 瀬戸市南山口町537 ☎ 0561-21-2116、2117
- あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター
〒 451-0083 名古屋市中区新福寺町2丁目1番の1 ☎ 052-325-8091
- あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター
〒 491-0931 一宮市大和町馬引字宮浦35 ☎ 0586-45-7871
- あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター
〒 443-0013 蒲郡市大塚町伊賀久保109 ☎ 0533-59-7146

■名古屋市

- 名古屋市工業研究所
〒 456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号 ☎ 052-661-3161

■岐阜県

- 岐阜県産業技術総合センター
〒 501-3265 関市小瀬1288 ☎ 0575-22-0147
- 岐阜県食品科学研究所
〒 501-1112 岐阜市柳戸1番1 ☎ 058-201-2360
- 岐阜県セラミックス研究所
〒 507-0811 多治見市星が台3-11 ☎ 0572-22-5381
- 岐阜県生活技術研究所
〒 506-0058 高山市山田町1554番地 ☎ 0577-33-5252

■三重県

- 三重県工業研究所
〒 514-0819 津市高茶屋5-5-45 ☎ 059-234-4036

■富山県

- 富山県産業技術研究開発センター
〒 933-0981 高岡市二上町150 ☎ 0766-21-2121
- 富山県農林水産総合技術センター木材研究所
〒 939-0311 射水市黒河新4940 ☎ 0766-56-2915
- 富山県総合デザインセンター
〒 933-1119 高岡市オフィスパーク5 ☎ 0766-62-0510

■石川県

- 石川県工業試験場
〒 920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地 ☎ 076-267-8081

■瑞浪市

- 瑞浪市窯業技術研究所
〒 509-6122 岐阜県瑞浪市上平町5丁目5番地の1 ☎ 0572-67-2427

■多治見市

- 多治見市陶磁器意匠研究所
〒 507-0803 岐阜県多治見市美坂町2丁目77番地 ☎ 0572-22-4731

■静岡県

- 静岡県工業技術研究所
〒 421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078 ☎ 054-278-3002
- 静岡県工業技術研究所 沼津工業技術支援センター
〒 410-0022 沼津市大岡3981-1 ☎ 055-925-1100
- 静岡県工業技術研究所 富士工業技術支援センター
〒 417-8550 富士市大淵2590-1 ☎ 0545-35-5190
- 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
〒 431-2103 浜松市北区新都田一丁目3番3号 ☎ 053-428-4152

■長野県

- 長野県工業技術総合センター
〒 380-0928 長野県長野市若里 1-18-1 ☎ 026-268-0602

■福井県

- 福井県工業技術センター
〒 910-0102 福井県福井市川合鷺塚町61字北福田10 ☎ 0776-55-0664

■産業技術総合研究所 中部センター

- 産業技術総合研究所 中部センター
〒 463-8560 愛知県名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞2266-98 ☎ 052-736-7000
(2022年11月26日以降は、住所が以下に変更されます)
〒463-8560 名古屋市守山区桜坂4丁目205

●産業技術連携推進会議（産技連）のご紹介

産技連とは、全国の公設試および国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）の連携を通して、我が国の産業の発展に貢献することを目的とする組織です。会員機関相互の連携を通じて、各々の試験・研究に関わる技術力を高めるとともに、地域の企業と連携する力を高め、地域におけるイノベーション創出へつなげていくことを使命としています。



中部地域公設試験研究機関活用ガイド2022

令和4年11月発行

発行・製作 産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会